琉球大学学術リポジトリ

2016 年度 URGCC 学生調査報告：学士におけるURGCC学習教育目標の達成度および関連性に着目して

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学大学グローバル教育支援機構
	公開日: 2018-07-11
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 藤本, 裕介, 西本, 裕輝
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41106

2016 年度 URGCC 学生調査報告
ー学士における URGCC 学習教育目標の達成度および関連性に着目してー

藤本 裕介（グローバル教育支援機構開発室　研究員）
西本 裕輝（グローバル教育支援機構　授業支援部門長）

背景・目的

URGCC 学生調査（正式名称は「琉球大学の教育改善のための学生調査」）は，新入生を対象に 2012 年度に導入された質問紙形式の経年調査であり，調査導入時から 2015 年度まで一つの学年を対象に縦断的に調査を行ってきた。中でも， 7 つの URGCC 学習教育目標の達成度，授業外学習時間，教育への満足度，学生生活等について調査し，教育改善への一助とすることを目的としている（URGCC 学習教育目標は Table 1 参照）。

これまで，本調査は URGCC に関する質問項目を中心としており，学生の URGCC 学習教育目標の達成度について把握しているものの，達成度に影響する要因について検討するには至っていない。しかし，2016 年度より，大学 IR コンソーシアム等の調査項目と併せて調査を実施することで，学生の実態についてより詳しく把握することが可能となり，一部の項目において達成度との関係性を調べることが可能となった。 そこで本稿では，7 つの URGCC 学習教育目標の達成度および達成度と関係のある項目について検討する。その他，学生の授業外学習の状況等について結果を示す。

（Table 1）7 つの URGCC 学習教育目標

自律性	自分自身が掲げる目標の達成に向けて， 自律的に学習し行動することができる。
社会性	市民として社会の規範やルールを理解し，倫理性を身につけ， 多様な人々と協調･協働して行動できる。
地域･国際性	地域の歴史と自然に学び， 世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。
コミュニケーション・スキル	言語（日本語と外国語）とシンボルを用いてコミュニケーションを行い， 自分の考えや意志を明確に表現することができる。
情報リテラシー	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し， 適切に理解した上で取捨選択し，活用することができる。
問題解決力	批判的･論理的に思考するとともに， これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。
専門性	専攻する学問分野における思考法，スキル，知識等を体系的に身につけ， 活用することができる。

方法

１　調査の対象・方法

調査対象者は，本学の諸過程に属する 1 年次から 4 年次までの学部学生である。調査期間は 2016 年 9 月から 2016 年 3 月までであった。なお， 2015 年度までは，質問紙による調査を行っていたが，2016 年度は web 上で調査を行い，学生が学内教務情報システムにログインすることで調査のお知らせが届くようにした。また，調査への回答が未回答である学生に対しては，メールや呼びかけ等によって通知され，調査への回答が促された。調査項目については，別紙を参照されたい（別紙：付録資料 1)。

２　回収率

調査全体の回収率は 65.9%であった。4 年次のみを対象とした 2015 年度調査では，回収率が 44.5%であったのに対し，今年度は 5・6 年次を除く全学年を対象としたものの，回収率は前年度よりも高かった（Table 2)。また，各学部における回収率のほとんどが 60%を超えており，学生の半数以上から回答を得ることができた（Table 3)。

（Table 2）年次別の回答者数，在籍者数および回収率

	全体	1年次	2年次	3年次	4年次
回答者数	4632	1228	1113	1108	1183
在籍者数	7026	1647	1708	1688	1983
回収率	65.9%	74.6%	65.2%	65.6%	59.7%

※在学者数は平成28年11月1日現在の数値であり，留学生及び休学者を含む。

（Table 3）学部別の回答者数，在籍者数，回収率

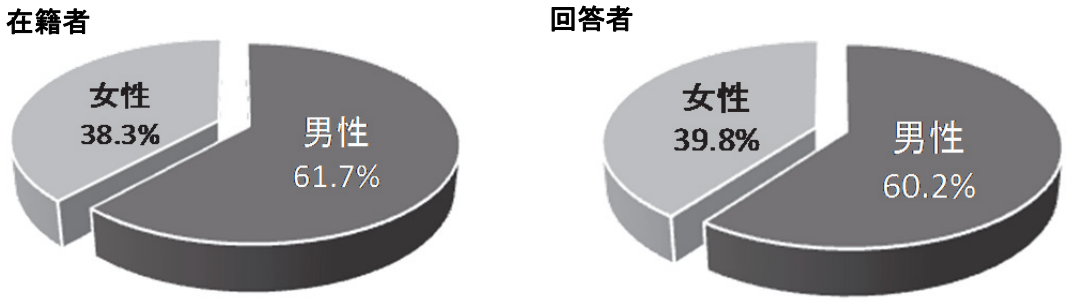
	全体	法文学部	観光産業科学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部
回答者数	4632	1257	397	594	565	415	1034	370
在籍者数	7026	1880	656	808	848	724	1552	558
回収率	65.9%	66.9%	60.5%	73.5%	66.6%	57.3%	66.6%	66.3%

※在籍者数は平成28年11月1日現在の数値であり，留学生及び休学者を含む。
※対象者は学部1年次から4年次までを対象とし，5年次以降は対象に含めない。

３　回答者の構成

（１）性別構成比

回答者および 2016 年度の全在籍者の性別構成比は下記のとおりである（Figure 1)。これにより，今回の調査対象者は極端な偏りのないことが分かる。

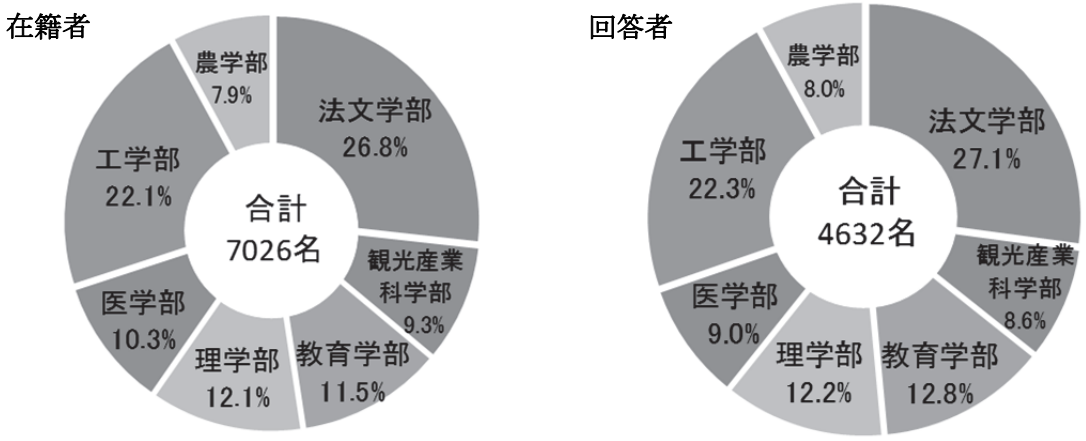


（Figure 1）在籍者および回答者の性別構成比

※2016 年度教務課在籍調参照（留学生および休学者を含む）

（２）回答者の学部構成比

回答者および 2016 年度の全在籍者の学部構成比は下記のとおりである（Figure 2）。これにより，今回の調査対象者は極端な偏りのないことが分かる。



（Figure 2）在籍者および回答者の学部構成比

※2016 年度教務課在籍調参照（留学生および休学者を含む）

結果と分析

１　質問項目の信頼性

調査では URGCC 学習教育目標の 7 つそれぞれに対し，質問項目が設けられている（Table 4）。質問項目について，内的整合性を確かめるために信頼性分析を行い，クロンバックの α 係数を算出し，各項目が同じものを測定していると見なせるのか調べた（Table 5）。その結果，全ての URGCC 学習教育目標において 0.75 以上の値が算出され，十分な信頼性が確認された。なお，本稿における分析結果の算出においては，IBM SPSS statistics version 22.0 を用いた。

（Table 4）URGCC 学習教育目標の下位項目および得点率の算出について

変数名	算出法	項目内容
自律性得点率	4項目を加算した 合計12点中の得点率	･大学で学ぶ意義を理解することができる ･目標達成のために，自律的に努力することができる ･生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる ･心身の健康を自律的に維持するように努めることができる
社会性得点率	5項目を加算した 合計15点中の得点率	･社会の規則やルールの意味を理解し，自己の良心に従って行動できる ･他者の意見を傾聴することができる ･他者と協調･協働して行動することができる ･リーダーシップを有し，目標の実現のために行動することができる ･社会の一員としての自覚を持つことができる
地域･国際性得点率	5項目を加算した 合計15点中の得点率	･地域･国際社会の発展に積極的に関与することができる ･沖縄の自然･歴史･社会等と世界の状況を結びつけて理科することができる ･異文化を理解し，寛容な姿勢を持つことができる ･自然環境を理解し，自然と共生するための知識を身につけることができる ･自分が生活している地域社会の問題を理解することができる
コミュニケーション･ スキル得点率	5項目を加算した 合計15点中の得点率	･高度な日本語力を持ち，活用することができる ･特定の外国語を用いて，読み，書き，聞き，話すことができる ･語彙，論理ともに適切な文章で論文を作成することができる ･自然や社会的事象について，シンボルを活用して分析･理解し，表現することができる ･様々な立場を理解し，論理的に意見を交わすことができる
情報リテラシー得点率	4項目を加算した 合計12点中の得点率	･情報通信技術を活用することができる ･それぞれの分野において，信頼できる情報源を判断することができる ･多様な情報を収集･分析して適正に判断することができる ･収集した情報をモラルに則って活用することができる
問題解決力得点率	5項目を加算した 合計15点中の得点率	･様々な視座から物事を批判的に考察することができる ･問題を見いだし，創造的に解決策を考えることができる ･情報や知識を論理的に分析することができる ･獲得した知識や経験等を活用し，課題について総合的に判断することができる ･幅広い学問分野について関心を持ち，その分野から得られる知識を活用することができる
専門性得点率	3項目を加算した 合計9点中の得点率	･専攻する学問分野における思考法を体系的に身につけており，それらを活用することができる ･専攻する学問分野におけるスキルを体系的に身につけており，それらを活用することができる ･専攻する学問分野における知識を体系的に身につけており，それらを活用することができる

（Table 5）URGCC 学習教育目標における質問項目の信頼性

	自律性	社会性	地域･国際性	コミュニケーション･スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
信頼性係数（α）	.759	.789	.817	.811	.796	.866	.864

２　URGCC 学習教育目標得点率の算出について

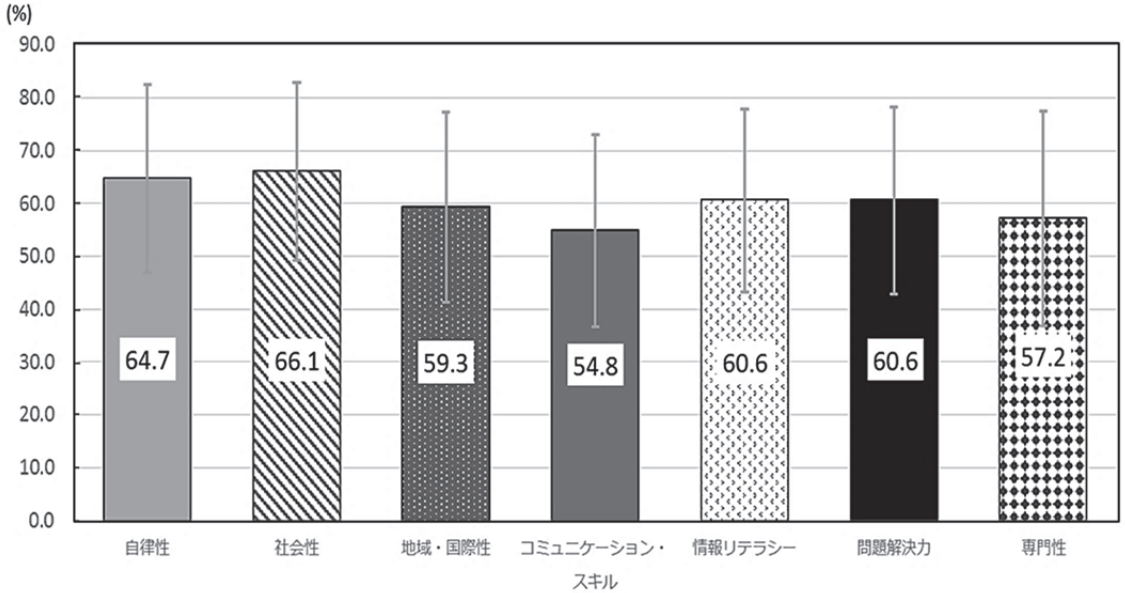
URGCC 学習教育目標に関する質問は 31 項目あり回答は 4 件法（「とてもあてはまる」，「ある程度あてはまる」，「あまりあてはまらない」，「まったくあてはまらない」）であった。本稿では，学生の自己評価による URGCC 学習教育目標の達成度の把握のため，はじめに，各学習教育目標を得点化し（「とてもあてはまる：3 点」，「ある程度あてはまる：2 点」，「あまりあてはまらない：1 点」，「まったくあてはまらない：0 点」），次に得点を得点率に換算した（Table 4 参照）。なお，得点率に換算すると「とてもあてはまる：100%」，「ある程度あてはまる：66%」，「あまりあてはまらない：33%」，「まったくあてはまらない：0%」となる。

３　2016 年度の URGCC 学習教育目標の得点率

URGCC 学習教育目標の得点率は下記のとおりであった（Table 6 & Figure 3）。どのくらい目標を身につけたかについて，各得点率を質問への回答と照らし合わせると，各得点率で平均値が 54%を超えていることから，学生の自己評価は平均して「あまりあてはまらない」と「ある程度あてはまる」の間に位置することが分かる。また，社会性においては 66%を超えていることから「ある程度あてはまる」と答えた学生が平均して見られる。ただし，この数値には目標を達成する前の初年次の学生も含まれており，あくまで学部生全体の数値である。学生が入学時から卒業時まで，学年を経るにつれどのように変化するのか，学年間の比較については次節を参照されたい。

（Table 6）2016 年度学部生の URGCC 学習教育目標得点率の記述統計量

URGCC学習教育目標	度数	平均値(%)	標準偏差
自律性	4514	64.7	17.70
社会性	4508	66.1	16.80
地域・国際性	4455	59.3	18.00
コミュニケーション・スキル	4487	54.8	18.20
情報リテラシー	4499	60.6	17.30
問題解決力	4479	60.6	17.70
専門性	4525	57.2	20.30



（Figure 3）2016 年度学部生の URGCC 学習教育目標得点率の平均

４　URGCC 学習教育目標得点率平均の学年間比較

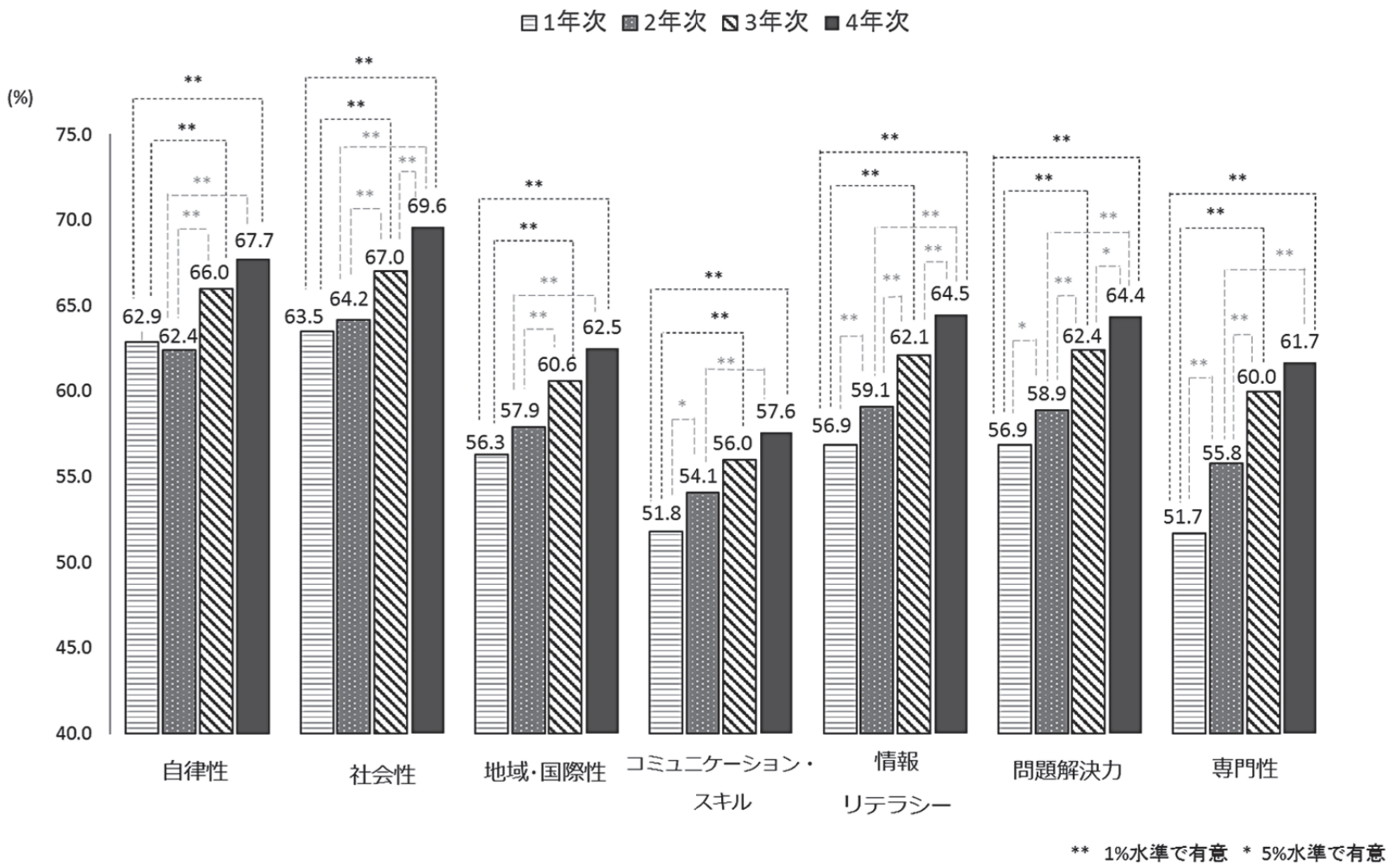
各学習教育目標得点率の平均を学年ごとに比較した。分析には，学年を独立変数，各学習教育目標得点率を従属変数とした 1 要因 4 水準の分散分析を行い，その後 Tukey 法（Tukey の HSD 法）による多重比較を行った。この分析を行う理由は，学年ごとに算出された得点率の平均が統計学的に見て差があると言えるのか，意味のある差であるのかを客観的に確かめるためである。

分析の結果，全ての学習教育目標の得点率において，3 年次および 4 年次の平均値が 1 年次よりも 1%水準で有意に高く，コミュニケーション・スキルを除く学習教育目標得点率において， 2 年次よりも 1%水準で有意に高かった。また，3 年次と 4 年次の間では，社会性，情報リテラシー，問題解決力の 3 つで 4 年次の平均値が 3 年次よりも 1%水準または 5%水準で有意に高かった。2 年次については，コミュニケーション・スキル，情報リテラシー，問題解決力，専門性の 4 つで平均値が 1 年次よりも 1%水準または 5%水準で有意に高かった。記述統計量を Table 7，分析結果を Figure 4 に示す。

なお，有意水準はサンプルサイズ（データ数）が大きいほど小さな値を示すという性質を持っていることから，本調査のように回答者数が多い場合は有意な結果が出やすくなると考えられる。

（Table 7）URGCC 学習教育目標得点率の記述統計量

URGCC学習教育目標	調査対象者	度数	平均値(%)	標準偏差	最小値	最大値
自律性	1年次	1206	62.9	16.8	0.0	100.0
	2年次	1085	62.4	18.5	0.0	100.0
	3年次	1079	66.0	17.3	0.0	100.0
	4年次	1144	67.7	17.6	0.0	100.0
	全体	4514	64.7	17.7	0.0	100.0
社会性	1年次	1197	63.5	15.7	0.0	100.0
	2年次	1090	64.2	17.4	0.0	100.0
	3年次	1069	67.0	16.7	0.0	100.0
	4年次	1152	69.6	16.6	0.0	100.0
	全体	4508	66.1	16.8	0.0	100.0
地域･国際性	1年次	1189	56.3	16.7	0.0	100.0
	2年次	1067	57.9	18.7	0.0	100.0
	3年次	1071	60.6	18.0	0.0	100.0
	4年次	1128	62.5	17.8	0.0	100.0
	全体	4455	59.3	18.0	0.0	100.0
コミュニケーション･スキル	1年次	1202	51.8	17.6	0.0	100.0
	2年次	1078	54.1	19.0	0.0	100.0
	3年次	1070	56.0	17.7	0.0	100.0
	4年次	1137	57.6	17.8	0.0	100.0
	全体	4487	54.8	18.2	0.0	100.0
情報リテラシー	1年次	1200	56.9	16.5	0.0	100.0
	2年次	1083	59.1	18.4	0.0	100.0
	3年次	1066	62.1	16.9	0.0	100.0
	4年次	1150	64.5	16.3	0.0	100.0
	全体	4499	60.6	17.3	0.0	100.0
問題解決力	1年次	1204	56.9	17.2	0.0	100.0
	2年次	1078	58.9	18.4	0.0	100.0
	3年次	1064	62.4	17.3	0.0	100.0
	4年次	1133	64.4	16.9	0.0	100.0
	全体	4479	60.6	17.7	0.0	100.0
専門性	1年次	1206	51.7	19.4	0.0	100.0
	2年次	1087	55.8	20.8	0.0	100.0
	3年次	1078	60.0	19.8	0.0	100.0
	4年次	1154	61.7	19.7	0.0	100.0
	全体	4525	57.2	20.3	0.0	100.0



(Figure 4) URGCC 学習教育目標得点率平均の学年間比較

5　2016 年度学士教育プログラム別 URGCC 学習教育目標得点率の平均

2016 年度の 5・6 年次を除く全学年の学士教育プログラムごとの URGCC 学習教育目標得点率の平均を下記に示す（Figure 5－Figure 11）。

まず，「自律性得点率」については， 3 つの学士教育プログラムが 70%を超えている。しかし，一番低いものでは 58.4%となっており，10% 以上の差が見られる。

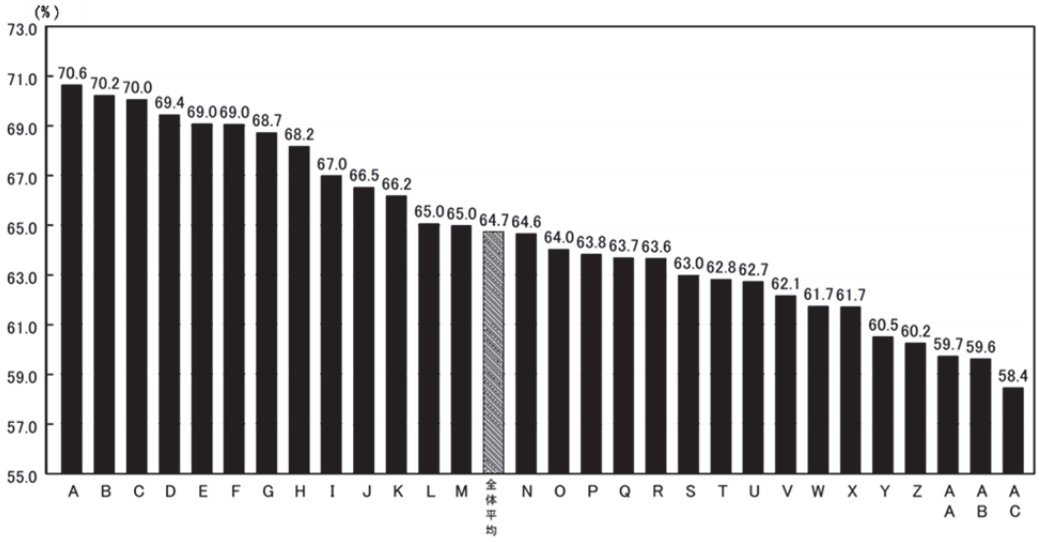
「社会性得点率」については，5 つの学士教育プログラムが 70%を超えており，一番低いもので 61%であった。

「地域・国際性得点率」については， 66%以上を示す学士教育プログラムが 3 つあるものの，約 52%の値を示す学士教育プログラムもあり，大きくて約 15%の差が見られる。「コミュニケーション・スキル得点率」にいては，学士教育プログラム C が，65.9%と 66%に近く他よりも高い傾向にある。しかし，ほとんどの学士教育プログラムの値が 60%未満であり数値としては高くない。

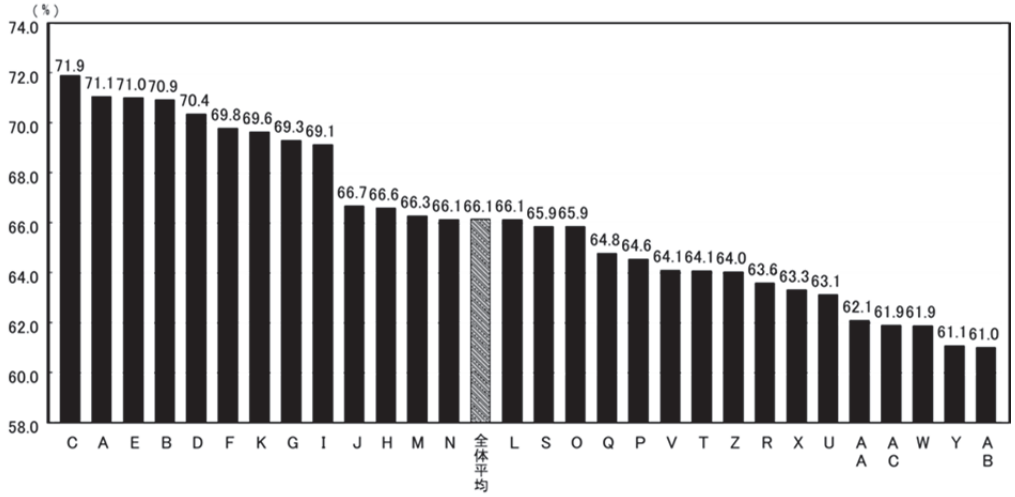
「情報リテラシー得点率」については，約半数が 60%を超えている。ただし，最大でも 66%（学士教育プログラム C）に留まっており，学生の評価が 60%前後に集中している。

「問題解決力得点率」については，情報リテラシー得点率と同じような傾向が見られ，学士教育プログラム C の 67.3%が最も高く，学生の評価が 60%前後に集中して見られる。「専門性得点率」については，全体的に 51%から 65%の値を示しており，約半数の学士教育プログラムが 55%以上を示している。

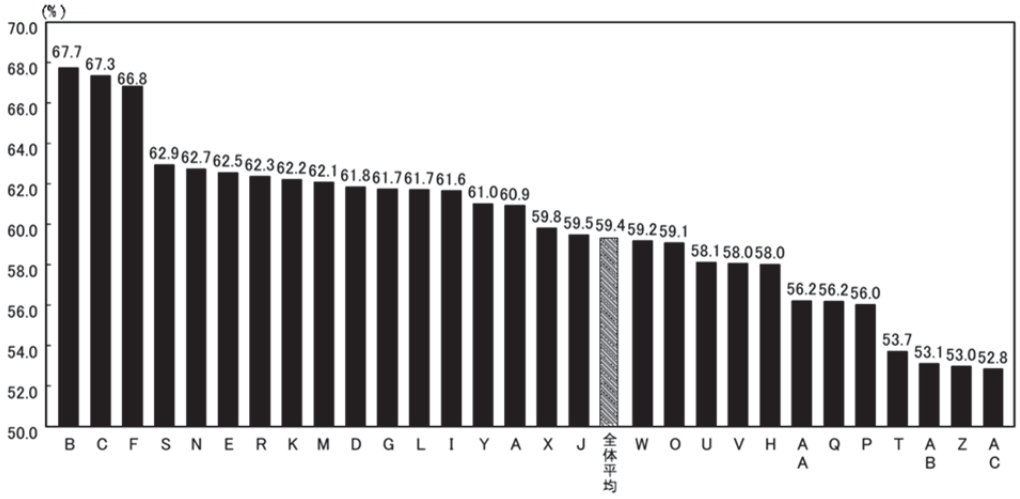
最後に，下記に示したグラフ全てに当てはまることとして，全ての学士教育プログラムを文系と理系で分類した場合，平均を上回り上位に位置するものの多くが文系である。逆に，平均を下回り他の学士教育プログラムに比べ下位に位置するものの多くが理系となっている。



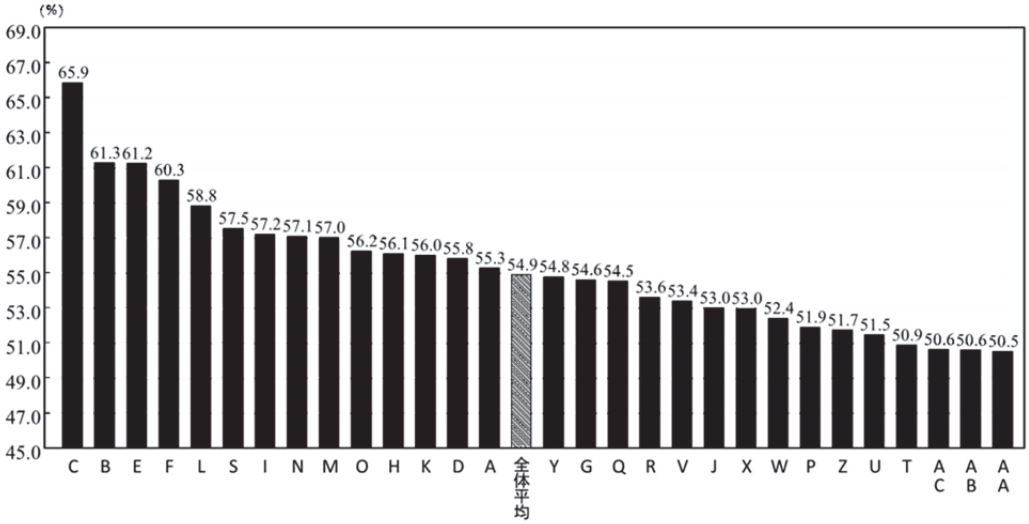
（Figure 5）学士教育プログラム別自律性得点率の平均



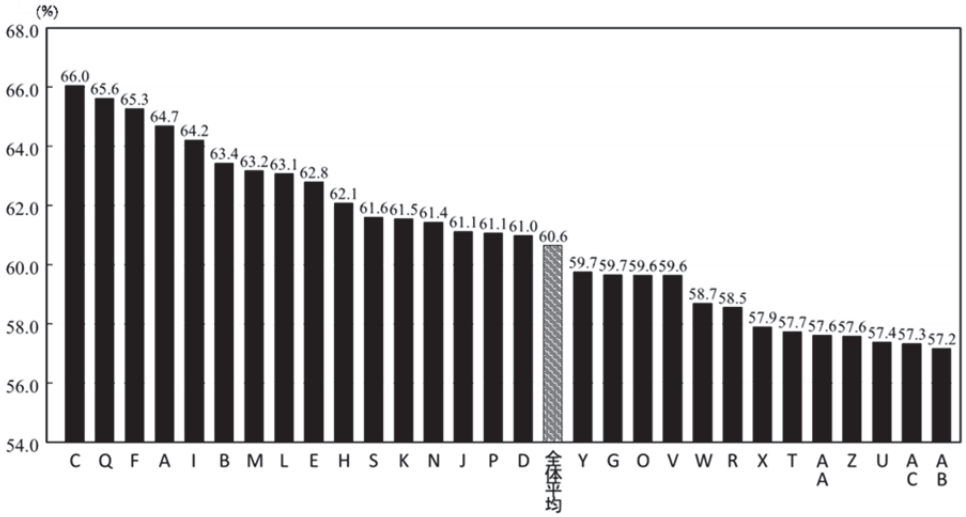
（Figure 6）学士教育プログラム別社会性得点率の平均



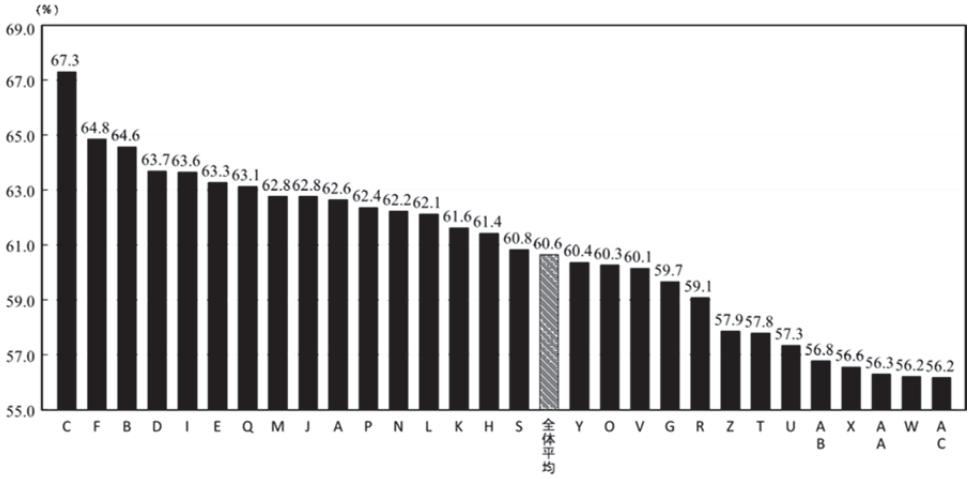
（Figure 7）学士教育プログラム別地域・国際性得点率の平均



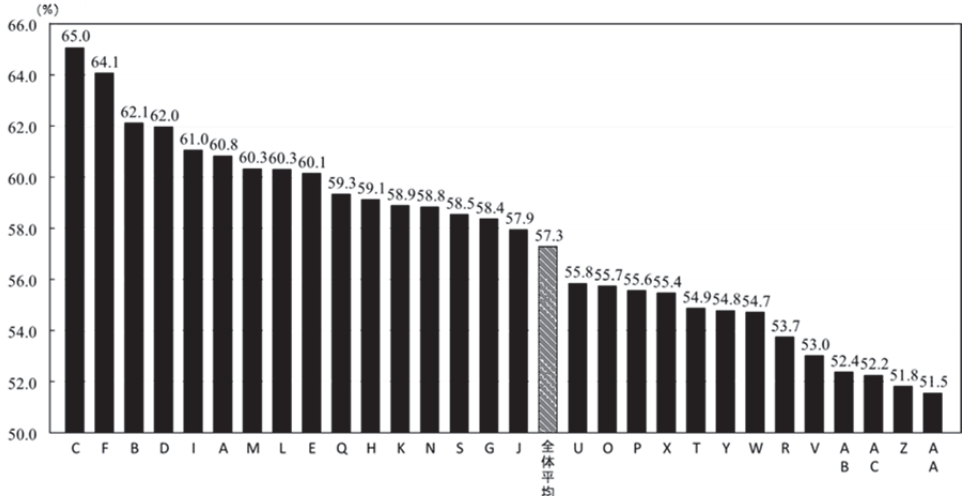
（Figure 8）学士教育プログラム別コミュニケーション・スキル得点率の平均



（Figure 9）学士教育プログラム別情報リテラシー得点率の平均



（Figure 10）学士教育プログラム別問題解決力得点率の平均

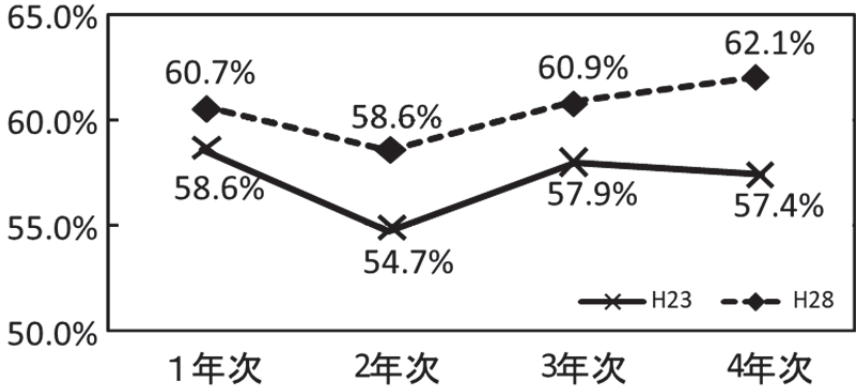


（Figure 11）学士教育プログラム別専門性得点率の平均

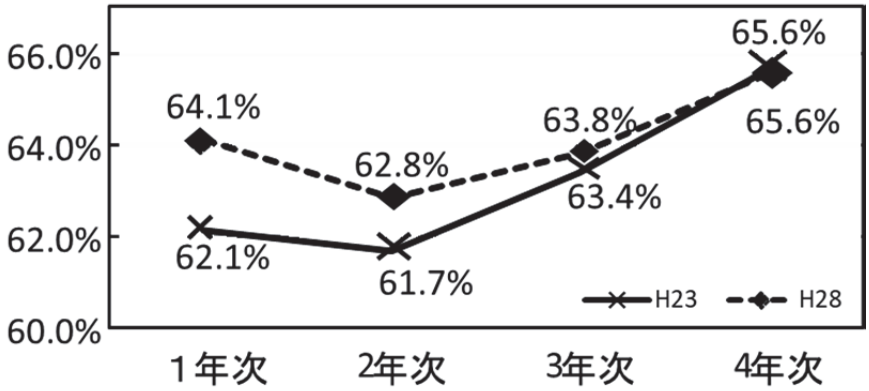
６　大学教育への満足度

本調査の質問項目の中には，大学教育への満足度に関する項目が設けられており，本学の教育についてどれほど満足しているか，共通教育全体と学部専門教育全体それぞれについて尋ねた。得られた回答は，一度得点化し百分率に換算しており，回答と照らし合わせると「とても満足している：100%」,「ある程度満足している：66%」,「あまり満足していない：33%」,「まったく満足していない：0%」となる。なお，得点に換算する際,「受けたことがない」と回答したものは分析から除外した。調査結果について，平成 23 年度の結果とともに学年別に下記に示す（Figure 12，Figure 13）。

共通教育全体への満足度について，平成 23 年度よりも平成 28 年度の方が高い値を示している。次に，学部専門教育全体への満足度については，年次が上がるにつれ差が見られなくなっており，全体的な差は見られない。したがって，共通教育全体の満足度だけが年度を重ねることで高くなっている。



（Figure 12）共通教育全体への満足度



（Figure 13）学部専門教育全体への満足度

7　URGCC 学習教育目標間の相関について

本稿では，それぞれの URGCC 学習教育目標について，一方の目標への回答と他の目標への回答との傾向が似たものになると仮定し，相関分析を行った（Table 8）。その結果，全ての項目で 0.65 以上と，中程度または強い正の相関が確認された。この結果は参考までに記載されたい。

（Table 8）URGCC 学習教育目標間の相関係数

	自律性得点率（0～100%）	社会性得点率（0～100%）	地域・国際性得点率（0～100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）	情報リテラシー得点率（0～100%）	問題解決力得点率（0～100%）	専門性得点率（0～100%）
自律性得点率（0～100%）	—	.778**	.696**	.659**	.674**	.724**	.682**
社会性得点率（0～100%）		—	.720**	.675**	.697**	.742**	.627**
地域・国際性得点率（0～100%）			—	.781**	.704**	.753**	.665**
コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）				—	.782**	.823**	.741**
情報リテラシー得点率（0～100%）					—	.839**	.717**
問題解決力得点率（0～100%）						—	.765**
専門性得点率（0～100%）							—

** 1%水準で有意である。

8　URGCC 学習教育目標の得点率に関係する要因について

本調査等では，URGCC に関する質問項目の他，新たに大学 IR コンソーシアム関連の質問項目等が設けられている。ここでは，URGCC 学習教育目標の達成度と関係性のある項目を調べることを目的とし，さまざまな質問項目と URGCC 学習教育目標の得点率との相関を算出した。なお，相関係数を算出した際に，相関が全て有意となっているが，これはサンプル数が非常に多いことによるものである。その他，相関については，肯定的な回答（または回答した数字が高い）ほど正の相関を示し，否定的な回答（または回答した数字が低い）ほど負の相関を示す結果となっている。下記で示す表の相関係数はこれに基づいており，それぞれの項目ごとに得点率との相関係数を示しまとめている。

まず，大学の実験や実習，フィールドワークのような体験的学びと，留学のような渡航経験が学習教育目標得点率に影響すると仮定し，相関分析を行った。その結果，相関の強さが 0.2 未満とほとんど相関は見られなかった（Table 7）。　次に，大学外での活動も目標の養成には影響があると考え，アルバイトや個人的な趣味，読書（マンガや雑誌を除く）に関する項目との相関を求めた。その結果，相関の強さが 0.2 未満と相関は見られなかった（Table 9）。

（Table 9）体験的学習および学外での活動とのURGCC学習教育目得点率の相関係数

相関係数		自律性得点率（0～100%）	社会性得点率（0～100%）	地域・国際性得点率（0～100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）	情報リテラシー得点率（0～100%）	問題解決力得点率（0～100%）	専門性得点率（0～100%）
〈質問〉実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ	回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.178**	.173**	.171**	.140**	.183**	.164**	.181**
〈質問〉大学外でアルバイトや仕事をする	回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	−.050**	−.096**	−.084**	−.071**	−.021	−.056**	−.059**
〈質問〉個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）	回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.108**	.081**	.095**	.093**	.031*	.062**	.088**
〈質問〉読書をする（マンガ・雑誌を除く）	回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	−.063**	−.009	−.098**	−.133**	−.069**	−.090**	−.067**
〈質問〉渡航経験	回答 1:渡航したことはない 2:10日未満 3:10日以上1ヶ月未満 4:1ヶ月以上6ヶ月未満 5:6ヶ月以上	.087**	.084**	.128**	.140**	.069**	.097**	.076**

** 1%水準で有意である。 * 5%水準で有意である。

次に，大学での生活や大学教育に対する満足度とURGCC学習教育目標との関係を調べた（Table 10）。分析の理由は，大学での経験等や教育に満足傾向にあるほど，目標に対する自己評価も高くなると思われるためである。分析の結果，相関の強さが0.30～0.47と，弱い相関または中程度の正の相関が見られた。他の学生と話す機会に満足している，または大学での経験全般について満足していると回答した者ほど，URGCC学習教育目標の得点率も高い傾向にあることが示唆された。

続いて，共通教育全体と学部専門教育全体に満足していると回答した者は，URGCC学習教育目標の得点率も高い傾向にあり，相関の強さが0.21～0.39と，弱い正の相関が見られた。

（Table 10）大学に関する満足度とURGCC学習教育目標との相関係数

相関係数		自律性得点率（0－100%）	社会性得点率（0－100%）	地域・国際性得点率（0－100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0－100%）	情報リテラシー得点率（0－100%）	問題解決力得点率（0－100%）	専門性得点率（0－100%）
〈質問〉他の学生と話をする機会	回答 1:とても不満 2:不満 3:どちらでもない 4:満足 5:とても満足	.403**	.417**	.339**	.307**	.327**	.330**	.328**
〈質問〉大学での経験全般について	回答 1:とても不満 2:不満 3:どちらでもない 4:満足 5:とても満足	.470**	.449**	.386**	.333**	.351**	.371**	.376**
〈質問〉共通教育全体	回答 1:まったく満足していない 2:あまり満足していない 3:ある程度満足している 4:とても満足している	.261**	.271**	.274**	.234**	.232**	.226**	.213**
〈質問〉学部専門教育全体	回答 1:まったく満足していない 2:あまり満足していない 3:ある程度満足している 4:とても満足している	.395**	.360**	.325**	.279**	.297**	.299**	.323**

** 1%水準で有意である。 * 5%水準で有意である。

次に，大学の授業に関する質問項目と URGCC 学習教育目標の得点率との相関を求めた（Table 11）。結果として，授業の中で「仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ」機会が多かったと答えた者ほど，目標の得点率も高い傾向が示唆され，相関の値が 0.20～0.31 と弱い正の相関が見られた。さらに，「学生が自分自身の考えや研究を発表する」，「授業中に学生同士が議論をする」においても，相関が 0.20～0.25 と弱い正の相関が見られた。その他，いくつかの目標のみに弱い正の相関が見られたものとして，「学生自身が文献や資料を調べる」「授業時間外に，他の学生と一緒に勉強したり，授業内容について話したりした」，「授業中、教員の考え方や意見に意義を唱えた」があった。一方「定期的に小テストやレポートが課される」，「提出期限までに授業課題を完成できなかった」の 2 つは全てにおいてほぼ相関が見られなかった。

（Table 11）大学の授業についての質問への回答と URGCC 学習教育目標との相関係数

相関係数	自律性得点率（0～100%）	社会性得点率（0～100%）	地域・国際性得点率（0～100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）	情報リテラシー得点率（0～100%）	問題解決力得点率（0～100%）	専門性得点率（0～100%）
〈質問〉仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.304**	.261**	.231**	.209**	.233**	.222**	.250**
〈質問〉学生自身が文献や資料を調べる　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.214**	.213**	.189**	.190**	.246**	.222**	.205**
〈質問〉定期的に小テストやレポートが課される　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.155**	.159**	.118**	.105**	.153**	.133**	.102**
〈質問〉学生が自分の考えや研究を発表する　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.247**	.242**	.231**	.226**	.233**	.240**	.237**
〈質問〉授業中に学生同士が議論をする　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.227**	.233**	.220**	.219**	.206**	.214**	.221**
〈質問〉提出期限までに授業課題を完成できなかった　回答 1:まったくしなかった 2:あまりしなかった 3:ときどきした 4:ひんぱんにした	-.149**	-.118**	-.023	-.013	-.040**	-.041**	-.051**
〈質問〉授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした　回答 1:まったくしなかった 2:あまりしなかった 3:ときどきした 4:ひんぱんにした	.284**	.298**	.213**	.197**	.228**	.232**	.236**
〈質問〉授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた　回答 1:まったくなかった 2:あまりなかった 3:ときどきあった 4:ひんぱんにあった	.166**	.124**	.210**	.264**	.190**	.215**	.245**

** 1%水準で有意である。 * 5%水準で有意である。

Table 11 の結果より，仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ頻度と URGCC 学習教育目標の得点率との間に関係性が示唆されたことから，将来に結び付いた内容が目標の達成に影響する可能性が考えられる。そこで，下記の質問項目においても URGCC 学習教育目標との相関を求めた（Table 12）。その結果，「将来の仕事と授業内容の結びつき」に満足している学生ほど URGCC 学習教育目標の得点率も高い傾向が見られ，自律性以外で相関の値が 0.28～0.37 と弱い正の相関が検出された。自律性得点率だけは中程度の相関を示した（r ＝.43，p<.01）。さらに，キャリア科目の受講の有無と目標の得点率の間には，相関が 0.2 未満とほぼ相関が見られなかった。しかし，キャリア科目を受講した者の中で，科目の内容に満足していると答えた人は「自律性」「社会性」「地域・国際性」「情報リテラシー」の

得点率において，相関が 0.20～0.25 と弱い正の相関が見られた。

（Table 12）授業内容及びキャリア科目への回答と URGCC 学習教育目標との相関係数

相関係数	自律性得点率（0～100%）	社会性得点率（0～100%）	地域・国際性得点率（0～100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）	情報リテラシー得点率（0～100%）	問題解決力得点率（0～100%）	専門性得点率（0～100%）
〈質問〉 将来の仕事と授業内容の結びつき 回答 1：とても不満 2：不満 3：どちらでもない 4：満足 5：とても満足	.432**	.358**	.322**	.282**	.306**	.313**	.363**
〈質問 A〉 私は、キャリア科目を受講している（受講した）、または、受講していない。 回答 1：受講していない 2：受講している（受講していた）	.119**	.145**	.126**	.099**	.097**	.115**	.116**
〈質問 B〉 質問Aで受講している（受講した）と回答した者で、そのキャリア科目の内容に満足しているか。 回答 1：全く満足していない 2：あまり満足ではない 3：満足 4：極めて満足している	.239**	.248**	.243**	.184**	.201**	.195**	.194**

** 1%水準で有意である。 * 5%水準で有意である。

続いて，授業への参加態度や授業時間外の学習および部活動についての質問への回答と URGCC 学習教育目標との相関を算出した（Table 13）。その結果，全ての項目で 0.00～0.18 の値を取りほとんど相関が見られなかった。

（Table 13）授業態度，授業外学習数，部活動の頻度と URGCC 学習教育目標との相関係数

相関係数	自律性得点率（0～100%）	社会性得点率（0～100%）	地域・国際性得点率（0～100%）	コミュニケーション・スキル得点率（0～100%）	情報リテラシー得点率（0～100%）	問題解決力得点率（0～100%）	専門性得点率（0～100%）
〈質問〉 授業を欠席した 回答 1：まったくしなかった 2：あまりしなかった 3：ときどきした 4：ひんぱんにした	-.143**	-.113**	-.038*	-.008	-.022	-.034*	-.055**
〈質問〉 授業に遅刻した 回答 1：まったくしなかった 2：あまりしなかった 3：ときどきした 4：ひんぱんにした	-.070**	-.046**	.001	.006	-.008	.004	.007
〈質問〉 授業中に居眠りをした 回答 1：まったくしなかった 2：あまりしなかった 3：ときどきした 4：ひんぱんにした	-.089**	-.048**	-.051**	-.053**	-.056**	-.060**	-.052**
〈質問〉 授業や実験に出る （1週間あたり） 回答 1：全然ない 2：1時間未満 3：1－2時間 4：3－5時間 5：6－10時間 6：11－15時間 7：16－20時間 8：20時間以上	.027	.036*	-.042**	-.052**	-.021	-.010	-.040**
〈質問〉 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする （1週間あたり） 回答 1：全然ない 2：1時間未満 3：1－2時間 4：3－5時間 5：6－10時間 6：11－15時間 7：16－20時間 8：20時間以上	.137**	.105**	.061**	.082**	.115**	.118**	.109**
〈質問〉 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする （1週間あたり） 回答 1：全然ない 2：1時間未満 3：1－2時間 4：3－5時間 5：6－10時間 6：11－15時間 7：16－20時間 8：20時間以上	.163**	.120**	.156**	.173**	.161**	.175**	.171**
〈質問〉 部活動や同好会に参加する （1週間あたり） 回答 1：全然ない 2：1時間未満 3：1－2時間 4：3－5時間 5：6－10時間 6：11－15時間 7：16－20時間 8：20時間以上	-.031*	-.035*	-.012	-.006	-.033*	-.026	-.024

** 1%水準で有意である。 * 5%水準で有意である。

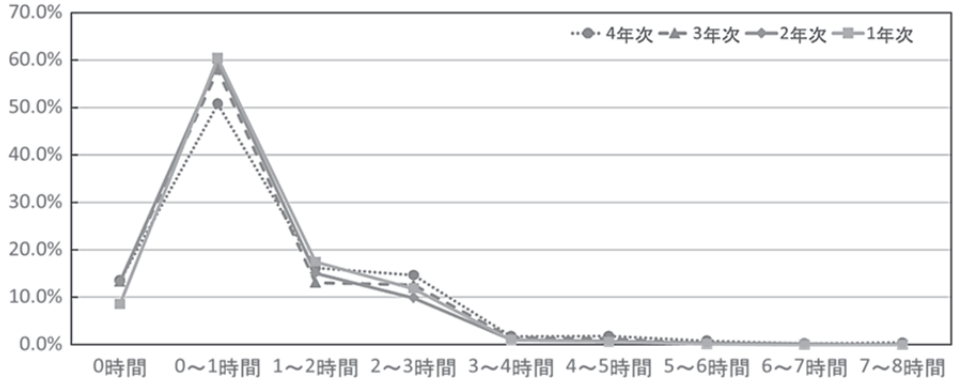
９　平成 28 年度学生の学習時間数について

本稿では，授業外の学習時間を，授業の「事前学習時間」「事後学習時間」「事前･事後学習時間」「授業と直接関連しない学習時間」「総学習時間」と区別して記載する。なお，パーセンテージについては，回答者数を換算したものである。

はじめに，授業の事前学習と事後学習についてそれぞれ下記に示す（Table 14 & Figure 14，Table 15 & Figure 15）。事前学習および事後学習ともに，0～1 時間と答えた学生が 50%以上と最も多く，3 時間以降だとそれぞれの時間数の回答者は 5%を下回っている。

（Table 14）平成 28 年度学生の授業の事前学習時間

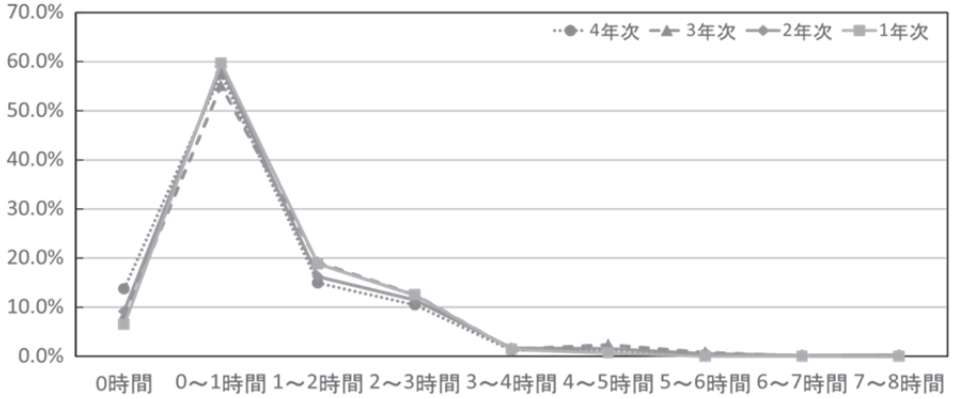
年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
平成28年度	4年次	13.5%	50.8%	16.2%	14.7%	1.7%	1.8%	0.8%	0.2%	0.4%	1174
平成28年度	3年次	13.3%	57.9%	13.1%	12.6%	1.5%	1.3%	0.2%	0.1%	0.1%	1101
平成28年度	2年次	13.3%	59.4%	15.1%	9.8%	1.1%	0.7%	0.4%	0.2%	0.0%	1107
平成28年度	1年次	8.6%	60.4%	17.5%	11.8%	1.0%	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%	1225



（Figure 14）平成 28 年度学生の授業の事前学習時間

（Table 15）平成 28 年度学生の授業の事後学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
平成28年度	4年次	13.7%	57.5%	14.9%	10.5%	1.2%	1.4%	0.4%	0.2%	0.2%	1165
平成28年度	3年次	8.2%	55.1%	19.2%	12.6%	1.5%	2.4%	0.8%	0.1%	0.2%	1115
平成28年度	2年次	9.2%	58.9%	16.2%	11.5%	1.6%	1.5%	0.5%	0.2%	0.3%	1093
平成28年度	1年次	6.5%	59.7%	18.9%	12.5%	1.5%	0.7%	0.1%	0.1%	0.0%	1217

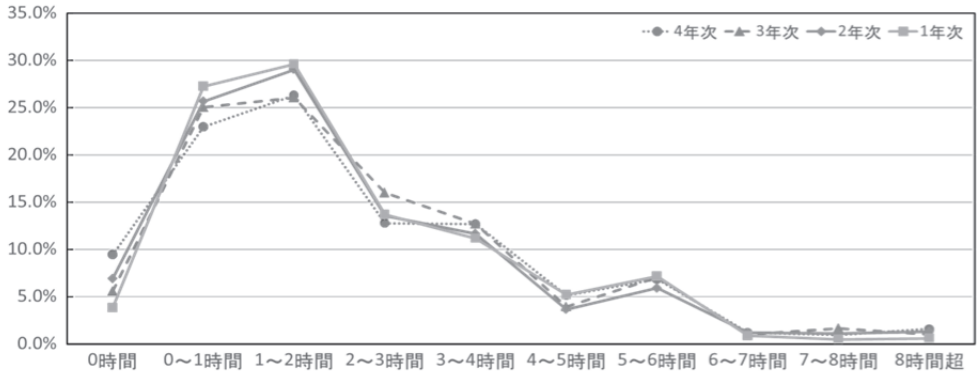


（Figure 15）平成 28 年度学生の授業の事後学習時間

次に，事前学習と事後学習を合せた学習時間「事前･事後学習時間」について下記に示す（Table 16 & Figure 16)。グラフを見ると，1～2 時間と答えた学生が 25%以上と最も多く，2～3 時間と 3～4 時間では約 15%前後を示し，4 時間以降は 10%未満となっている。また，5～6 時間が全ての学年で 5%を超えており，約 20 人に 1 人は当てはまる結果となっている。

（Table 16）平成 28 年度学生の授業の事前･事後学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8時間超	度数
平成28年度	4年次	9.4%	23.0%	26.3%	12.8%	12.7%	5.1%	6.9%	1.2%	0.9%	1.6%	1166
平成28年度	3年次	5.6%	25.0%	26.1%	16.0%	12.7%	3.9%	7.0%	1.0%	1.6%	1.0%	1116
平成28年度	2年次	6.9%	25.7%	29.1%	13.6%	11.7%	3.6%	5.9%	1.2%	1.1%	1.3%	1100
平成28年度	1年次	3.8%	27.3%	29.6%	13.7%	11.2%	5.2%	7.2%	0.9%	0.5%	0.6%	1224

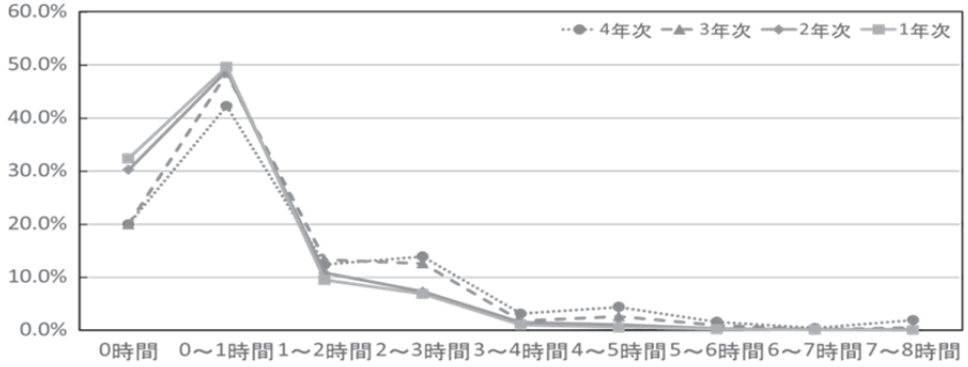


（Figure 16）平成 28 年度学生の授業の事前･事後学習時間

さらに，授業と直接関連しない学習時間について下記に示す（Table 17 & Figure 17)。グラフを見ると，0～1 時間が最も多く，事前学習や事後学習のグラフと似た傾向を示している。学習時間が長くなるにつれて 1 年次と 2 年次よりも， 3 年次と 4 年次における回答者が多くなっている。

（Table 17）平成 28 年度学生の授業と直接関連しない学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
平成28年度	4年次	20.0%	42.3%	12.4%	13.9%	3.1%	4.4%	1.6%	0.4%	1.9%	1151
平成28年度	3年次	20.0%	48.4%	13.3%	12.5%	1.7%	2.6%	0.9%	0.1%	0.5%	1116
平成28年度	2年次	30.2%	48.9%	10.8%	7.3%	1.5%	1.0%	0.3%	0.1%	0.1%	1111
平成28年度	1年次	32.4%	49.6%	9.4%	6.8%	1.0%	0.5%	0.2%	0.1%	0.0%	1222

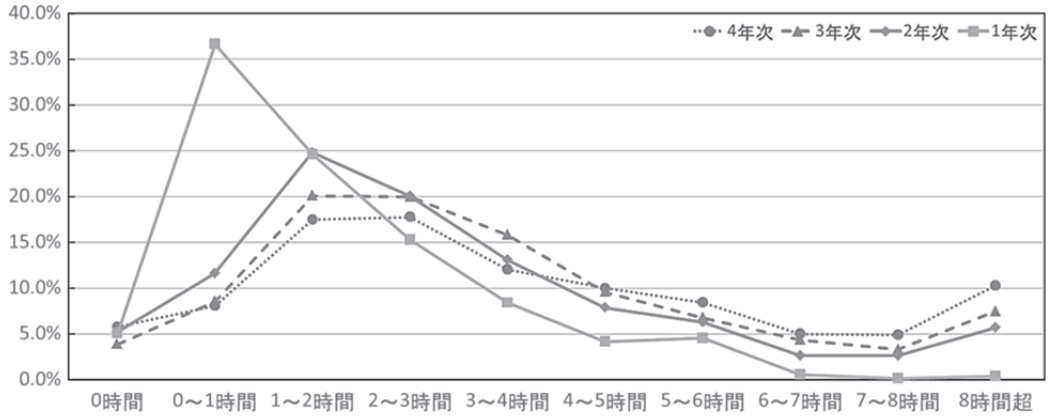


（Figure 17）平成 28 年度学生の授業と関連の無い学習時間

最後に，１日あたりの総学習時間について下記に示す（Table 18 & Figure 18）。総学習時間とは，事前学習，事後学習，授業と直接関連しない学習を全て合せた学習時間のことである。総学習時間のグラフを見ると，各学年で特徴が見られる。まず，1 年次については，0～1 時間が 35%以上と最も多く，それ以降徐々に下がっている。次に，2 年次は 1～2 時間が約 25%と最も多く，それ以降は緩やかに減少している。3 年次については，3～4 時間が約 15%と他の学年よりも多く，それ以降の時間では 4 年次に次いで多い。4 年次については，3～4 時間までは他学年よりも回答者数が少ないが，4～5 時間以降は回答者数が他の学年に比べ最も多くなっている。

（Table 18）平成 28 年度学生の 1 日における総学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8時間超	度数
平成28年度	4年次	5.8%	8.1%	17.5%	17.8%	12.1%	10.0%	8.5%	5.0%	4.9%	10.3%	1136
平成28年度	3年次	3.9%	8.6%	20.1%	20.0%	15.8%	9.6%	6.8%	4.4%	3.3%	7.5%	1097
平成28年度	2年次	5.2%	11.6%	24.8%	20.1%	13.1%	7.9%	6.3%	2.7%	2.7%	5.7%	1094
平成28年度	1年次	5.1%	36.7%	24.6%	15.3%	8.4%	4.2%	4.6%	0.6%	0.2%	0.4%	1217



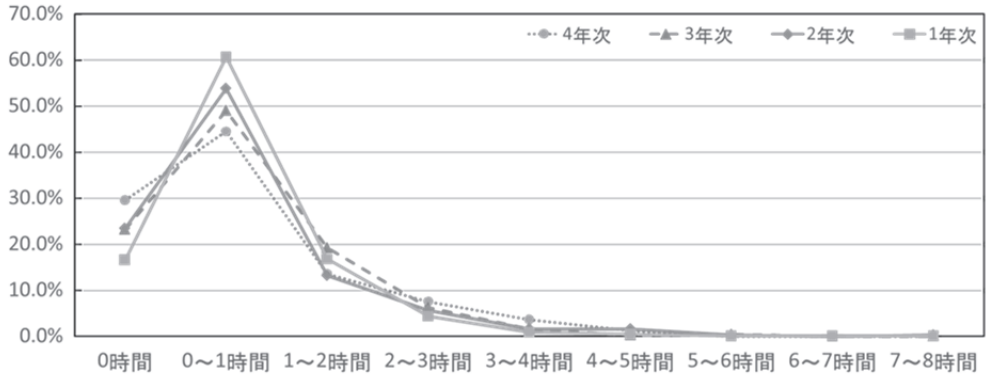
（Figure 18）平成 28 年度学生の 1 日における総学習時間

10　平成 24 年度入学生の学習時間について

平成 24 年度入学生の 4 年間追跡調査による学習時間の変化を下記に示す。まず，事前学習（Table 19 & Figure 19）と事後学習（Table 20 & Figure 20）について，平成 24 年度入学生のグラフは平成 28 年度の学生と似た傾向を示し，事前および事後ともに 0～1 時間と回答した学生が最も多く，回答者は 2012 年度から 2105 年度まで学年が上がるにつれ減少している。

（Table 19）平成 24 年度入学生の授業の事前学習時間

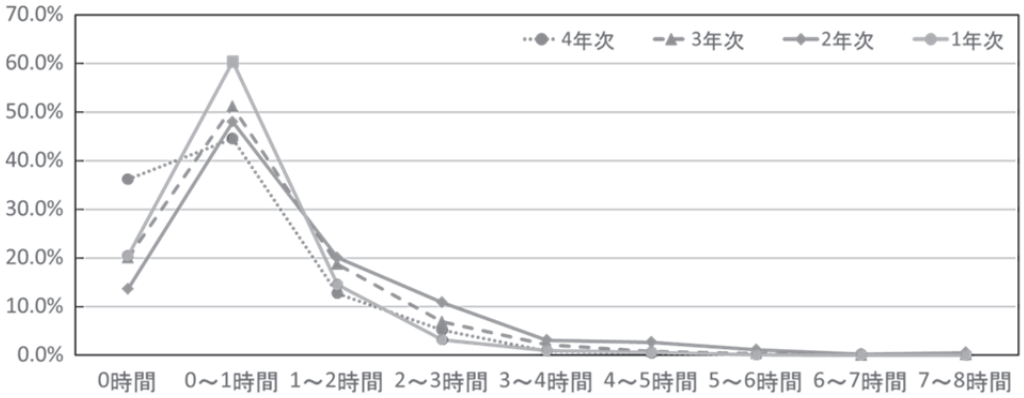
年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
2015年度	4年次	29.6%	44.5%	13.5%	7.5%	3.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	717
2014年度	3年次	23.2%	49.0%	19.2%	6.2%	1.6%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	930
2013年度	2年次	23.5%	53.8%	13.2%	5.6%	1.6%	1.6%	0.3%	0.0%	0.3%	992
2012年度	1年次	16.6%	60.6%	16.8%	4.3%	0.9%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	1357



（Figure 19）平成 24 年度入学生の授業の事前学習時間

（Table 20）平成 24 年度入学生の授業の事後学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
2015年度	4年次	36.1%	44.5%	12.7%	5.2%	0.8%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	717
2014年度	3年次	20.0%	51.1%	18.7%	6.9%	2.2%	0.8%	0.3%	0.0%	0.1%	930
2013年度	2年次	13.6%	48.0%	20.0%	10.8%	3.1%	2.7%	1.1%	0.2%	0.5%	978
2012年度	1年次	20.4%	60.3%	14.5%	3.1%	1.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	1366

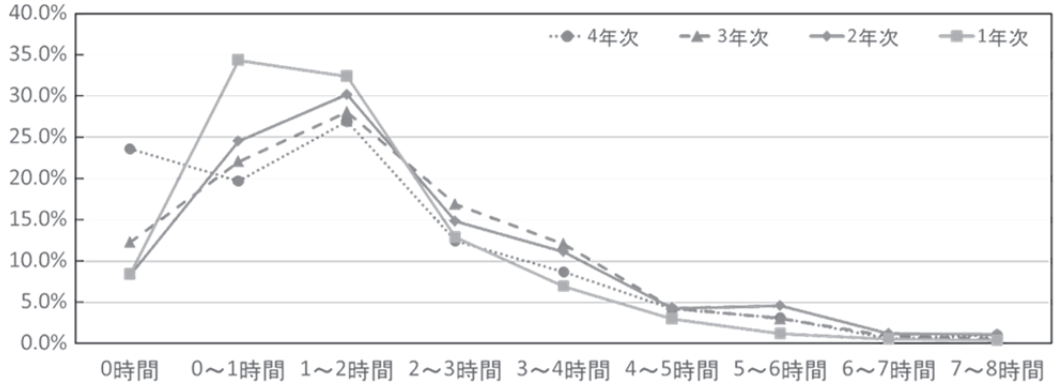


（Figure 20）平成 24 年度入学生の授業の事後学習時間

続いて，事前学習と事後学習を合せた「事前･事後学習時間」を下記に示す（Table 21 & Figure 21）。グラフを見ると，1 年次の 0～1 時間が約 35%と，平成 28 年度の約 27%と比べやや多い。また，4 年次は 0 時間が 24%近くおり，他学年に比べ 10%以上多い。

（Table 21）平成 24 年度入学生の授業の事前・事後学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
2015年度	4年次	23.6%	19.7%	26.9%	12.4%	8.6%	4.2%	3.1%	0.6%	1.0%	717
2014年度	3年次	12.3%	22.0%	28.1%	16.9%	12.0%	4.3%	3.0%	0.9%	0.5%	930
2013年度	2年次	8.3%	24.5%	30.2%	14.8%	11.1%	4.2%	4.6%	1.2%	1.1%	918
2012年度	1年次	8.4%	34.3%	32.4%	12.9%	6.9%	3.0%	1.2%	0.5%	0.4%	1343

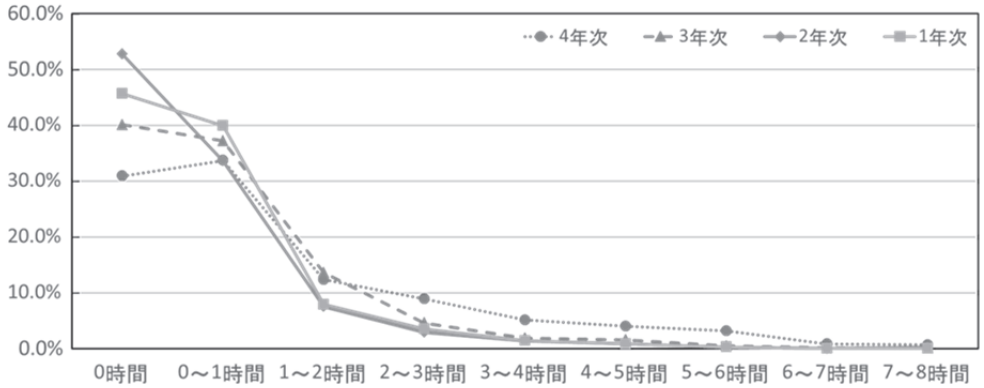


（Figure 21）平成 24 年度入学生の授業の事前事後学習時間

続いて，授業と直接関連しない学習時間について下記に示す（Table 22 & Figure 22）。グラフを見ると，全学年で 0 時間が 30%以上を示し，2 年次では 50%を超えている。一方，平成 28 年度は全学年で 20～33%を示し，平成 28 年度の方が 0 時間の回答者数が少ない。

（Table 22）平成 24 年度入学生の授業と直接関連しない学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
2015年度	4年次	31.0%	33.8%	12.4%	8.9%	5.2%	4.0%	3.2%	0.8%	0.7%	717
2014年度	3年次	40.1%	37.2%	13.7%	4.6%	1.9%	1.6%	0.5%	0.2%	0.1%	930
2013年度	2年次	52.8%	33.6%	7.6%	3.0%	1.4%	0.9%	0.3%	0.1%	0.3%	978
2012年度	1年次	45.7%	40.0%	8.0%	3.5%	1.5%	0.9%	0.3%	0.1%	0.1%	1356

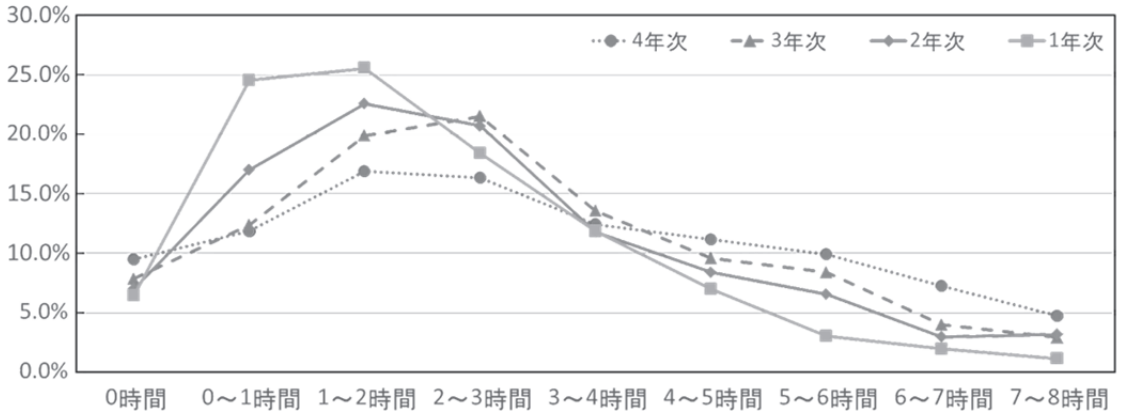


（Figure 22）平成 24 年度入学生の授業と直接関連しない学習時間

最後に，1 日あたりの総学習時間について下記に示す（Table 23 & Figure 23）。グラフを見ると，3～4 時間を境目に 4～5 時間以降で学年が上がるにつれ回答者数が多くなっている。これは平成 28 年度においても似たような傾向を示している。

（Table 23）平成 24 年度入学生の 1 日における総学習時間

年度	学年	0時間	0～1時間	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	度数
2015年度	4年次	9.5%	11.9%	16.9%	16.3%	12.4%	11.2%	9.9%	7.3%	4.7%	717
2014年度	3年次	7.8%	12.4%	19.9%	21.5%	13.5%	9.6%	8.4%	4.0%	2.9%	930
2013年度	2年次	7.0%	17.0%	22.5%	20.7%	11.8%	8.4%	6.5%	2.9%	3.2%	918
2012年度	1年次	6.5%	24.6%	25.6%	18.4%	11.9%	7.0%	3.0%	2.0%	1.1%	1315



（Figure 23）平成 24 年度入学生の 1 日における総学習時間

考察

本調査は，7 つの URGCC 学習教育目標の達成度や授業外学習時間等を把握し，教育改善への一助とすることを目的に学部学生を対象とした調査を実施した。その結果，平成 28 年度における学部学生の URGCC 学習教育目標の達成度や学習状況等を把握することができた。また，学習教育目標の達成度に関係する項目についての検討や，授業外学習時間について過去のデータとの比較が可能となった。

調査結果への考察としては，URGCC 学習教育目標の得点率のように，達成度に関する内容が主であったが，学年別の調査結果（Table 5 & Figure 4）より，ほぼ全ての学習教育目標にて学年が上がるごとに得点率の上昇が見られ，大学 4 年間を通して 7 つの目標を徐々に身につけていくことが示唆された。次に，各学士教育プログラム別の URGCC 学習教育目標の得点率については，学士教育プログラムごとで学生の自己評価に違いが見られた。これは，学生が各プログラムで学ぶ中で，それぞれのカリキュラムに沿って科目を履修することによる差であり，各カリキュラムの持つ性質に影響される可能性がある。また，あくまで学生の自己評価であるため，学生によっては自己評価が厳しくなることもある。

続いて，大学教育への満足度については，平成 23 年度と平成 28 年度の調査結果を比べると，平成 28 年度でより共通教育全体に対する満足度の上昇が見られた。これは，共通教育等の改善による結果であると考えられる。ただし，教育に対する満足度は重要な観点であり，引き続き教育の改善等が求められる。

次に，URGCC 学習教育目標の得点率に関係する要因について，探索的ではあるが，関連性のあると思われる質問項目を選び相関を求めた。調査結果より，実習のような体験的学びや渡航経験，アルバイトのような大学外での活動との間にほとんど相関が見られなかったものの，他の学生と話をする機会が十分であることや教育への満足度が高いこととの間には弱い相関または中程度の正の相関が見られた。このことから，URGCC 学習教育目標の達成度は，大学内における教育や学生同士の交流との間に関係性があり，実習のような体験的学びとは異なる要因が影響する可能性がある。また，大学内の活動との関連については，講義における教育そのものが URGCC 学習教育目標と関係している可能性が示唆される。その他，学部 4 年次の URGCC 学習教育目標の得点率が最も高い傾向にあることから，集大成科目とされる卒業研究も URGCC 学習教育目標の達成に影響していることも考えられる。

続いて，授業外学習時間については，平成 28 年度学生の事前・事後学習時間を見ると，全ての学年で 1～2 時間が 27%前後と最も多く，0～1 時間が 25%前後と，回答者の約 50%近くがどちらかに回答している。このことから，本学の学部学生の約半数が，授業外で 1 日あたりおよそ 0～2 時間授業に関係する学習をしていると言える。残りの 50%については，個人差が大きく，3～4 時間または 5～6 時間と答える者も少なからずいる。ただし，授業に関連しない学習も含めると，1 日における総学習時間は，1～2 時間および 2～3 時間と答え

ていることが分かる。その他，事前・事後学習における 0 時間や 0～1 時間の学生数は，平成 24 年度入学生よりも平成 28 年度の学生の方が少ないことから，授業時間外で学習をしていないと答える学生，または 1 時間未満である学生の数は，少ない数ではあるが減少している可能性がある。従って，今後とも学生の授業外学習を促し，学習時間を確保することは重要である。

今後の課題

本学の学部学生を対象とした学生調査では，今回の 2016 年度より，URGCC に関する質問項目を大学 IR コンソーシアム等の質問項目と併せて調査することとなり，項目数が全体で約 200 近くとなってしまった。今後は，質問項目の厳選が求められ，回答における学生の負担を軽減する必要がある。また，URGCC 学習教育目標の達成度について，達成度を高める要因について引き続き検討し，大学教育との関連性をより明らかにしていくことが望まれる。また，経済産業諮問委員会（Business and Industry Advisory Committee：BIAC）から経済協力開発機構（Organization for Economic Co-operation and Development：OECD）に示された世界的な調査によると，様々な国の雇用者組織の代表者のうち 80%が，組織にとって職場での人間性は今後ますます重要になるとし，国の教育システムは人間性教育をより推進すべきであるとしている（BIAC，2015）。URGCC 学習教育目標は，学生が本学に入学してから卒業するまでに身につけることが望まれる本学独自の目標であり，BIAC の調査結果のように，社会で働く上で人間性が重要であるという意見に沿うものである。その点で URGCC 学習教育目標を大学で身につける事は，卒業後に社会の一員として生きていく上で有益であると考えられるが，そのことをまず学生が理解することが重要であり，学生への情報提供を充実させることが望まれる。

引用文献

BIAC　2015　Character Qualities for the Workplace：BIAC Survey　Synthesis Report http://biac.org/wp-content/uploads/2015/06/15-06-Synthesis-BIAC-Character-Survey1.pdf

付録資料１

※2016年度実施の初年次における学生調査の調査票を一部抜粋および編集したものである。
初年次と上級生および所属教育プログラムによって調査内容が一部異なる。

アンケート名	１-⑧　一年生／法文／国言／英語　琉球大学　学生基礎データ調査 2016年度後学期
説明	本調査は、本学がこれまで様々な形で実施してきた調査を一括してとりまとめ、授業時間に支障をきたすことがないよう教務システム上で実施することにしたものです。本調査の回答結果は大学の基礎データとして管理・分析され、教育の質保証および改善に役立てられるだけでなく、皆さんの４年間の修学意識・状況の変化をみなさん自身が振り返ることができるデータとして蓄積・表示され、学習計画、キャリアパス形成等に活用できます。 ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されますので、個人が特定される形で公表されることはありません。回答は、数値の記入など特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを１つだけ選んでください。全部で約２００問あります。従来の調査を取りまとめたため、似通った設問がいくつかありますが、分析方法が異なるためそのまま答えてください。今後、分析方法も含めて統合を検討していきます。 回答時間の目安は２５分程度です。回答は途中で休止し再開することが可能ですが、必ず最後まで回答してください。未回答の場合は催促通知が送付されることになります。 それではご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 グローバル教育支援機構長 【問い合わせ先】E-Mail dgurgcc@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
回答期間	2016/09/20～2017/03/31

Ⅰ.最初にあなたのご自身のことについておうかがいします。

Q1　あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。

○30分未満
○30分以上ー1時間未満
○1時間以上ー1時間30分未満
○1時間30分以上ー2時間未満
○2時間以上

Q2　あなたの現在の居住形態は次のうちどれですか。

○家族または親戚と暮らしている
○アパート・学生マンションでひとり暮らし
○大学寮や合宿所
○その他

Ⅱ．大学に入学してからのあなたの学習状況についておうかがいします。

あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。

Q3　実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ

○ひんぱんにあった
○ときどきあった
○あまりなかった
○まったくなかった

Q4　仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q5　授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q6　授業の一環でボランティア活動をする

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q7　学生自身が文献や資料を調べる

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q8　定期的に小テストやレポートが課される

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q9　教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q10　学生が自分の考えや研究を発表する

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q11　授業中に学生同士が議論をする

〇ひんぱんにあった

〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q12　授業で検討するテーマを学生が設定する

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q13　授業の進め方に学生の意見が取り入れられる

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q14　取りたい授業を履修登録できなかった

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q15　出席することが重視される

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

Q16　TA（上級生や大学院生の授業補助者）から補助を受ける

〇ひんぱんにあった
〇ときどきあった
〇あまりなかった
〇まったくなかった

大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

Q17　授業課題のために図書館の資料を利用した

〇ひんぱんにした
〇ときどきした
〇あまりしなかった
〇まったくしなかった

Q18　授業課題のためにWeb上の情報を利用した

〇ひんぱんにした
〇ときどきした
〇あまりしなかった

○まったくしなかった

Q19　インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q20　提出期限までに授業課題を完成できなかった

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q21　授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q22　授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q23　授業を欠席した

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q24　授業に遅刻した

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q25　授業をつまらなく感じた

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q26　授業中に居眠りをした

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q27　教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q28　単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q29　大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q30　教員に親近感を感じた

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

Q31　授業や実験に出る

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間
○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q32　授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間

○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q33　授業時間外に、授業に関連しない勉強をする

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間
○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q34　オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間
○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q35　部活動や同好会に参加する

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間
○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q36　大学外でアルバイトや仕事をする

○全然ない
○１時間未満
○１－２時間
○３－５時間
○６－１０時間
○１１－１５時間
○１６－２０時間
○２０時間以上

Q37　読書をする（マンガ・雑誌を除く）

〇全然ない
〇１時間未満
〇１－２時間
〇３－５時間
〇６－１０時間
〇１１－１５時間
〇１６－２０時間
〇２０時間以上

Q38　個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

〇全然ない
〇１時間未満
〇１－２時間
〇３－５時間
〇６－１０時間
〇１１－１５時間
〇１６－２０時間
〇２０時間以上

入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

Q39　一般的な教養

〇大きく増えた
〇増えた
〇変化なし
〇減った
〇大きく減った

Q40　分析力や問題解決能力

〇大きく増えた
〇増えた
〇変化なし
〇減った
〇大きく減った

Q41　専門分野や学科の知識

〇大きく増えた
〇増えた
〇変化なし
〇減った
〇大きく減った

Q42　批判的に考える能力

〇大きく増えた
〇増えた
〇変化なし
〇減った

Q95　教員と話をする機会

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q96　学習支援や個別の学習指導

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q97　他の学生と話をする機会

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q98　大学のなかでの学生同士の一体感

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q99　多様な考え方を認め合う雰囲気

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q100　大学での経験全般について

○とても満足
○満足
○どちらでもない
○不満
○とても不満

Q128　自分が取り組んだ課題について教師に意見を求めた

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Q129　読書をした（マンガ・雑誌を除く）

○ひんぱんにした
○ときどきした
○あまりしなかった
○まったくしなかった

Ⅵ．学位授与方針(卒業要件)等についてお伺いします。

次のことについてあてはまるものを選んでください。

Q130　あなたの所属する学科、専攻の学位授与方針(卒業要件)について理解していますか。

○よく理解している
○ほぼ理解している
○あまり理解していない
○ほとんど理解していない

Q131　あなたの所属する学科、専攻の卒業要件として履修する科目の内容及びレベルはあなたが取得する学位に対して適切であると思いますか。

○適切であると思う
○ほぼ適切であると思う
○あまり適切でないと思う
○ほとんど適切でないと思う

Q132　あなたが履修している各授業の達成目標及び評価基準を理解していますか。

○よく理解している
○ほぼ理解している
○あまり理解していない
○ほとんど理解していない

Ⅶ．現在のあなたの状況についてお伺いします。

あなたは次の本学の教育について、どれほど満足していますか。

Q133　共通教育全体

○とても満足している
○ある程度満足している
○あまり満足していない
○まったく満足していない
○受けたことがない

Q134　学部専門教育全体

○とても満足している
○ある程度満足している
○あまり満足していない
○まったく満足していない
○受けたことがない

今年度の前期の学習等について、あなたは次の活動に1日あたり平均でどのくらいの時間を費やしましたか。

Q135　授業の事前学習（次回の授業の準備として行う予習・課題学習等）　※回答例　3：00（←３時間の場合）、2：30（←２時間30分の場合）、0:30（←30分の場合）　（3文字以上5文字以内）

：

Q136　授業の事後学習（各回の授業の振り返りとして行う復習・課題学習等）　※回答例　3：00（←３時間の場合）、2：30（←２時間30分の場合）、0:30（←30分の場合）　（3文字以上5文字以内）

：

Q137　単位に直接関係しない自主的な学習　※回答例　3：00（←３時間の場合）、2：30（←２時間30分の場合）、0:30（←30分の場合）　（3文字以上5文字以内）

：

Q138　あなたの今年度前期中の平均睡眠時間は１日あたりどのくらいでしたか。　※回答例　7：30（←７時間30分の場合）　（3文字以上5文字以内）

：

あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。

Q139　大学で学ぶ意義を理解することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q140　社会の規範やルールの意味を理解し、自己の良心に従って行動できる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない

○まったくあてはまらない

Q141　地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q142　高度な日本語力を持ち、活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q143　情報通信技術を活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q144　様々な視座から物事を批判的に考察することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q145　専攻する学問分野における思考法を体系的に身につけており、それらを活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q146　目標達成のために、自律的に努力することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q147　他者の意見を傾聴することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q148　沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を結びつけて理解することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q149　特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q150　それぞれの分野において、信頼できる情報源を判断することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q151　問題を見いだし、創造的に解決策を考えることができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q152　専攻する学問分野におけるスキルを体系的に身につけており、それらを活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q153　生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q154　他者と協調・協働して行動することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q155　異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる

○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q156　語彙、論理ともに適切な文章で論文を作成することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q157　多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q158　情報や知識を論理的に分析することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q159　専攻する学問分野における知識を体系的に身につけており、それらを活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q160　心身の健康を自律的に維持するように努めることができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q161　リーダーシップを有し、目標の実現のために行動することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q162　自然環境を理解し、自然と共生するための知識を身につけることができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q163　自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析・理解し、表現することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q164　収集した情報をモラルに則って活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q165　獲得した知識や経験等を活用し、課題について総合的に判断することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q166　社会の一員としての自覚を持つことができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q167　自分が生活している地域社会の問題を理解することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q168　様々な立場を理解し、論理的に意見を交わすことができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q169　幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から得られる知見を活用することができる

○とてもあてはまる
○ある程度あてはまる
○あまりあてはまらない
○まったくあてはまらない

Q186　私は、問題に気づいたら努力・工夫しようとしていると思う。

○かなりそう思う
○ある程度思う
○あまり思わない
○全く思わない

Q187　私は、キャリア科目を受講している（受講した）、または、受講していない。

○受講している（受講していた）
○受講していない

Q188　Q187で受講している（受講した）と回答した者で、そのキャリア科目の内容に満足しているか。

○極めて満足している
○満足
○あまり満足ではない
○全く満足していない
○受講していない

雇用状況についてお尋ねします

Q189　現在、失業率を表す指標としての“完全失業率”が沖縄県は全国の2倍近いということを知っている。

○知っている
○ある程度知っている
○知らない

Q190　現在、求人数を表す指標としての“有効求人倍率”が沖縄県は全国一低いということを知っている。

○知っている
○ある程度知っている
○知らない

Q191　現在、沖縄県内大学生新規学卒者の3年目までの離職者率が約50%であることを知っている。

○知っている
○ある程度知っている
○知らない

Q192　現在、琉球大学生の卒業時点の“就職も進学もしない者”が約20%近くいることを知っている。

○知っている
○ある程度知っている
○知らない

付録資料2 「2016年度実施 学生調査 学部生対象URGCC質問項目およびIR質問項目（一部） 単純集計表」

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
所属する学部	法文学部	27.1	26.0	28.5	25.8	28.0
	観光産業科学部	8.6	8.8	8.4	8.9	8.2
	教育学部	12.8	13.5	12.4	13.2	12.2
	理学部	12.2	12.3	12.8	12.1	11.7
	医学部	9.0	9.3	8.6	9.2	8.7
	工学部	22.3	22.7	20.6	22.2	23.8
	農学部	8.0	7.4	8.6	8.5	7.5
所属する学部教育プログラム	法学	4.1	4.0	4.5	4.5	3.3
	経済	6.4	5.9	7.2	5.4	7.2
	政治・国際関係	3.1	3.0	3.2	3.3	2.7
	人間行動	1.9	2.0	1.7	2.3	1.7
	社会学	1.9	2.0	1.4	2.1	2.1
	地理歴史人類学	2.0	2.2	2.3	2.0	1.6
	琉球アジア文化	2.1	2.0	2.3	2.3	1.9
	英語文化	4.6	3.9	5.0	3.3	6.3
	ヨーロッパ文化	0.9	1.0	0.9	0.5	1.2
	観光学	3.6	4.0	3.8	3.4	3.1
	経営学	5.0	4.8	4.6	5.5	5.1
	学校教育	6.8	6.8	6.6	7.0	6.8
	生涯教育	6.1	6.7	5.9	6.2	5.4
	数理科学	2.8	2.9	2.9	2.6	2.6
	物理系	2.3	1.9	2.3	2.7	2.5
	地学系	1.5	1.5	1.7	1.4	1.4
	化学系	3.0	2.9	2.9	3.1	3.0
	生物系	2.6	3.0	3.0	2.3	2.1
	医学	5.6	5.9	5.8	5.8	5.0
	保健学	3.3	3.3	2.9	3.4	3.7
	機会システム工学	7.0	7.3	6.8	6.6	7.4
	土木コース	2.7	2.8	2.0	2.4	3.4
	建築コース	2.5	2.7	1.9	2.6	2.7
	電気電子工学	5.9	6.0	5.2	6.4	5.9
	情報工学	4.3	3.8	4.8	4.2	4.4
	亜熱帯地域農学	2.0	1.6	2.3	2.3	1.9
	亜熱帯農林環境科学	2.2	2.4	2.7	2.0	1.9
	地域農業工学	1.6	1.1	1.9	1.6	1.6
	亜熱帯生物資源科学	2.2	2.3	1.8	2.5	2.1
実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ	ひんぱんにあった	20.9	13.2	19.5	26.1	25.4
	ときどきあった	45.5	41.5	45.0	46.8	49.0
	あまりなかった	24.1	30.5	25.7	20.0	19.7
	まったくなかった	9.5	14.9	9.8	7.0	5.8
大学外でアルバイトや仕事をする	全然ない	28.2	36.4	19.6	25.3	30.6
	1時間未満	2.9	2.9	2.4	2.6	3.7
	1－2時間	3.5	2.7	3.8	3.3	4.4
	3－5時間	12.6	12.2	13.2	12.5	12.6
	6－10時間	15.3	14.6	15.0	16.7	14.8
	11－15時間	10.8	10.9	12.0	10.9	9.4
	16－20時間	10.4	8.4	13.7	12.1	7.7
	20時間以上	16.3	11.9	20.2	16.6	16.8
個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）	全然ない	5.3	5.0	5.7	5.7	4.9
	1時間未満	8.2	8.9	7.9	7.4	8.7
	1－2時間	18.3	19.6	16.7	18.2	18.6
	3－5時間	29.3	27.1	29.0	30.3	30.9
	6－10時間	19.2	20.2	19.4	19.7	17.6
	11－15時間	6.7	7.5	7.9	5.1	6.4
	16－20時間	3.4	3.4	3.8	3.5	2.9
	20時間以上	9.5	8.4	9.6	10.2	10.0

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
読書をする（マンガ・雑誌を除く）	全然ない	34.9	32.1	37.3	35.9	34.5
	1時間未満	24.7	26.9	24.1	24.5	23.1
	1－2時間	21.4	21.8	20.3	21.3	22.1
	3－5時間	11.2	12.8	9.7	10.9	11.4
	6－10時間	4.3	3.5	5.1	3.7	4.9
	11－15時間	1.4	1.0	1.4	1.4	1.8
	16－20時間	0.7	0.7	0.9	0.6	0.7
	20時間以上	1.5	1.3	1.3	1.7	1.5
渡航経験	渡航したことはない	66.7	69.7	68.4	64.8	63.5
	10日未満	16.0	16.2	17.3	16.2	14.3
	10日以上1ヶ月未満	9.6	10.3	9.3	9.6	9.2
	1ヶ月以上6ヶ月未満	3.1	1.3	3.1	3.7	4.3
	6ヶ月以上	4.7	2.5	1.9	5.8	8.7
仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ	ひんぱんにあった	20.6	16.2	21.9	22.3	22.3
	ときどきあった	50.7	52.5	49.4	50.3	50.6
	あまりなかった	24.5	26.8	23.7	24.4	23.1
	まったくなかった	4.2	4.6	5.0	3.0	4.0
学生自身が文献や資料を調べる	ひんぱんにあった	36.5	24.2	33.4	43.2	46.0
	ときどきあった	45.6	51.5	45.4	43.2	41.9
	あまりなかった	14.6	19.8	17.1	10.6	10.5
	まったくなかった	3.3	4.6	4.1	2.9	1.7
定期的に小テストやレポートが課される	ひんぱんにあった	53.9	47.6	55.7	56.3	56.5
	ときどきあった	40.8	46.1	39.4	38.5	38.8
	あまりなかった	4.5	5.6	3.8	4.5	4.0
	まったくなかった	0.8	0.7	1.1	0.7	0.7
学生が自分の考えや研究を発表する	ひんぱんにあった	19.6	13.3	16.0	21.9	27.5
	ときどきあった	54.3	53.2	52.9	55.5	55.8
	あまりなかった	21.7	26.9	25.7	19.5	14.4
	まったくなかった	4.4	6.6	5.4	3.1	2.3
授業中に学生同士が議論をする	ひんぱんにあった	20.4	16.9	19.4	21.4	23.8
	ときどきあった	49.4	50.5	47.3	51.3	48.6
	あまりなかった	23.9	24.5	25.8	22.3	22.9
	まったくなかった	6.3	8.0	7.5	5.0	4.7
提出期限までに授業課題を完成できなかった	ひんぱんにした	5.1	4.5	5.3	6.4	4.4
	ときどきした	22.9	21.9	23.3	20.7	25.7
	あまりしなかった	34.7	32.0	32.2	35.8	39.0
	まったくしなかった	37.2	41.7	39.3	37.1	30.9
授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした	ひんぱんにした	27.2	24.6	28.7	31.9	24.1
	ときどきした	51.4	53.4	47.3	49.0	55.3
	あまりしなかった	16.8	16.6	19.1	15.3	16.4
	まったくしなかった	4.6	5.4	5.0	3.7	4.2
授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた	ひんぱんにした	2.4	2.1	2.4	2.8	2.3
	ときどきした	13.1	10.9	13.0	12.3	16.4
	あまりしなかった	40.5	36.4	42.0	42.0	41.8
	まったくしなかった	44.0	50.6	42.6	42.9	39.5
他の学生と話をする機会	とても満足	15.9	12.4	13.5	18.1	19.7
	満足	42.3	42.1	39.8	42.4	44.8
	どちらでもない	35.2	37.7	39.3	33.6	30.2
	不満	4.8	5.7	5.4	4.2	4.0
	とても不満	1.8	2.1	2.0	1.6	1.3
大学での経験全般について	とても満足	13.2	9.5	9.8	15.3	18.4
	満足	45.8	43.5	42.8	46.6	50.3
	どちらでもない	34.8	41.8	40.2	31.7	25.5
	不満	4.3	3.1	5.2	4.8	4.4
	とても不満	1.8	2.0	2.0	1.6	1.5
共通教育全体	とても満足している	10.9	8.9	10.5	10.7	13.7
	ある程度満足している	64.4	67.4	61.2	65.5	63.2
	あまり満足していない	20.1	20.5	21.8	19.5	18.8
	まったく満足していない	4.5	3.2	6.5	4.2	4.4

項目	回答	全体(%)	1年次(%)	2年次(%)	3年次(%)	4年次(%)
学部専門教育全体	とても満足している	16.2	15.3	15.1	15.9	18.3
	ある程度満足している	63.7	65.0	62.2	63.9	63.4
	あまり満足していない	16.5	16.5	19.0	16.0	14.8
	まったく満足していない	3.6	3.2	3.8	4.2	3.4
将来の仕事と授業内容の結びつき	とても満足	11.6	9.2	9.5	12.7	14.8
	満足	38.1	37.7	36.3	38.6	39.8
	どちらでもない	40.3	43.9	42.8	38.7	35.7
	不満	7.1	6.5	8.0	7.0	7.0
	とても不満	2.9	2.6	3.4	3.1	2.7
私は、キャリア科目を受講している(受講した)、または、受講していない。	受講している（受講していた）	44.3	23.5	46.1	55.8	53.7
	受講していない	55.7	76.5	53.9	44.2	46.3
受講している(受講した)と回答した者で、そのキャリア科目の内容に満足しているか。	極めて満足している	10.8	15.4	11.1	9.8	9.1
	満足	53.0	48.5	52.0	53.6	55.5
	あまり満足ではない	28.6	29.1	29.3	29.1	27.2
	全く満足していない	7.7	7.0	7.7	7.5	8.3
授業を欠席した	ひんぱんにした	6.8	5.2	5.9	7.9	8.2
	ときどきした	34.8	29.1	33.0	37.1	40.3
	あまりしなかった	42.1	45.3	40.2	42.4	40.3
	まったくしなかった	16.3	20.4	20.9	12.6	11.2
授業に遅刻した	ひんぱんにした	6.3	4.5	5.3	8.4	7.0
	ときどきした	32.4	21.7	32.1	37.0	39.6
	あまりしなかった	37.6	37.2	36.7	37.4	39.0
	まったくしなかった	23.7	36.6	26.0	17.2	14.4
授業中に居眠りをした	ひんぱんにした	10.1	7.8	10.7	12.4	9.7
	ときどきした	46.5	43.2	47.4	47.1	48.4
	あまりしなかった	28.7	31.6	27.1	26.5	29.2
	まったくしなかった	14.7	17.4	14.8	14.0	12.7
授業や実験に出る	全然ない	3.5	2.0	2.8	3.6	5.8
	1時間未満	2.5	2.2	2.2	2.3	3.3
	1－2時間	6.5	3.3	4.1	3.4	14.9
	3－5時間	11.7	6.9	6.3	7.6	25.4
	6－10時間	15.0	11.7	10.2	15.8	22.3
	11－15時間	21.6	24.8	24.8	26.7	10.4
	16－20時間	18.4	26.7	21.9	20.3	5.0
	20時間以上	20.8	22.5	27.7	20.4	12.9
授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	全然ない	7.0	3.6	6.3	6.2	12.0
	1時間未満	14.4	15.1	15.2	12.2	15.0
	1－2時間	22.7	24.7	22.3	21.7	22.1
	3－5時間	27.0	32.2	27.5	24.8	23.1
	6－10時間	16.3	15.9	15.4	20.3	14.0
	11－15時間	5.0	3.9	5.4	6.4	4.5
	16－20時間	2.4	2.1	2.2	2.7	2.6
	20時間以上	5.2	2.5	5.7	5.9	6.7
授業時間外に、授業に関連しない勉強をする	全然ない	26.0	30.6	30.6	21.2	21.3
	1時間未満	24.3	30.2	25.9	22.8	18.0
	1－2時間	20.6	20.1	21.6	21.4	19.3
	3－5時間	15.6	12.3	13.0	19.5	17.6
	6－10時間	6.5	3.9	4.6	7.1	10.3
	11－15時間	2.8	1.5	2.0	3.3	4.3
	16－20時間	1.1	0.2	0.5	1.4	2.2
	20時間以上	3.4	1.2	1.8	3.4	7.0
部活動や同好会に参加する	全然ない	58.5	45.4	59.6	59.3	70.4
	1時間未満	5.8	7.5	4.4	5.1	5.9
	1－2時間	9.8	13.5	7.9	8.8	8.8
	3－5時間	10.4	13.4	11.0	10.1	6.9
	6－10時間	8.6	12.5	9.3	8.1	4.5
	11－15時間	2.9	4.0	3.5	2.8	1.0
	16－20時間	1.1	1.2	1.1	1.6	0.7
	20時間以上	2.9	2.5	3.2	4.2	1.8

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
授業の事前学習（次回の授業の準備として行う予習・課題学習等）	0時間	12.1	8.6	13.3	13.3	13.5
	0時間超1時間以下	57.1	60.4	59.4	57.9	50.8
	1時間超2時間以下	15.5	17.5	15.1	13.1	16.2
	2時間超3時間以下	12.3	11.8	9.8	12.6	14.7
	3時間超4時間以下	1.3	1.0	1.1	1.5	1.7
	4時間超5時間以下	1.1	0.6	0.7	1.3	1.8
	5時間超6時間以下	0.4	0.2	0.4	0.2	0.8
	6時間超7時間以下	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2
	7時間超8時間以下	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4
授業の事後学習（各回の授業の振り返りとして行う復習・課題学習等）場合）	0時間	9.4	6.5	9.2	8.2	13.7
	0時間超1時間以下	57.8	59.7	58.9	55.1	57.5
	1時間超2時間以下	17.3	18.9	16.2	19.2	14.9
	2時間超3時間以下	11.8	12.5	11.5	12.6	10.5
	3時間超4時間以下	1.4	1.5	1.6	1.5	1.2
	4時間超5時間以下	1.5	0.7	1.5	2.4	1.4
	5時間超6時間以下	0.5	0.1	0.5	0.8	0.4
	6時間超7時間以下	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2
	7時間超8時間以下	0.2	0.0	0.3	0.2	0.2
事前学習＋事後学習時間	0時間	6.4	3.8	6.9	5.6	9.4
	0時間超1時間以下	25.3	27.3	25.7	25.0	23.0
	1時間超2時間以下	27.8	29.6	29.1	26.1	26.3
	2時間超3時間以下	14.0	13.7	13.6	16.0	12.8
	3時間超4時間以下	12.0	11.2	11.7	12.7	12.7
	4時間超5時間以下	4.5	5.2	3.6	3.9	5.1
	5時間超6時間以下	6.8	7.2	5.9	7.0	6.9
	6時間超7時間以下	1.1	0.9	1.2	1.0	1.2
	7時間超8時間以下	1.0	0.5	1.1	1.6	0.9
	8時間超9時間以下	0.3	0.1	0.5	0.4	0.2
	9時間超10時間以下	0.4	0.2	0.3	0.3	0.9
	10時間超11時間以下	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
	11時間超12時間以下	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3
単位に直接関係しない自主的な学習	0時間	25.8	32.4	30.2	20.0	20.0
	0時間超1時間以下	47.3	49.6	48.9	48.4	42.3
	1時間超2時間以下	11.4	9.4	10.8	13.3	12.4
	2時間超3時間以下	10.1	6.8	7.3	12.5	13.9
	3時間超4時間以下	1.8	1.0	1.5	1.7	3.1
	4時間超5時間以下	2.1	0.5	1.0	2.6	4.4
	5時間超6時間以下	0.7	0.2	0.3	0.9	1.6
	6時間超7時間以下	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4
	7時間超8時間以下	0.6	0.0	0.1	0.5	1.9
総学習時間（事前学習+事後学習+単位に関係しない学習）	0時間	5.0	5.1	5.2	3.9	5.8
	0時間超1時間以下	16.8	36.7	11.6	8.6	8.1
	1時間超2時間以下	21.8	24.6	24.8	20.1	17.5
	2時間超3時間以下	18.2	15.3	20.1	20.0	17.8
	3時間超4時間以下	12.2	8.4	13.1	15.8	12.1
	4時間超5時間以下	7.8	4.2	7.9	9.6	10.0
	5時間超6時間以下	6.5	4.6	6.3	6.8	8.5
	6時間超7時間以下	3.1	0.6	2.7	4.4	5.0
	7時間超8時間以下	2.7	0.2	2.7	3.3	4.9
	8時間超9時間以下	3.6	0.0	4.0	4.9	5.7
	9時間超10時間以下	0.9	0.1	0.6	1.0	1.8
	10時間超11時間以下	0.8	0.1	0.5	1.1	1.4
	11時間超12時間以下	0.6	0.2	0.5	0.5	1.3
大学で学ぶ意義を理解することができる	とてもあてはまる	21.2	17.7	20.5	22.6	24.1
	ある程度あてはまる	63.5	65.4	59.6	63.5	65.3
	あまりあてはまらない	12.9	14.6	16.3	12.1	8.8
	まったくあてはまらない	2.4	2.3	3.5	1.9	1.8

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
社会の規範やルールの意味を理解し、自己の良心に従って行動できる	とてもあてはまる	31.4	26.7	28.9	33.1	37.0
	ある程度あてはまる	60.5	65.2	60.7	59.6	56.1
	あまりあてはまらない	6.6	6.5	8.3	5.9	5.8
	まったくあてはまらない	1.5	1.6	2.1	1.5	1.1
地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる	とてもあてはまる	12.9	8.6	11.7	14.8	16.7
	ある程度あてはまる	48.9	47.9	48.6	49.3	49.8
	あまりあてはまらない	33.5	37.7	34.6	31.8	29.6
	まったくあてはまらない	4.7	5.8	5.1	4.1	3.9
高度な日本語力を持ち、活用することができる	とてもあてはまる	10.3	7.1	10.5	11.5	12.5
	ある程度あてはまる	49.2	46.3	48.7	50.8	51.4
	あまりあてはまらない	36.0	41.6	36.1	34.1	32.0
	まったくあてはまらない	4.4	5.1	4.7	3.6	4.1
情報通信技術を活用することができる	とてもあてはまる	11.6	7.5	11.7	12.5	15.0
	ある程度あてはまる	52.4	49.4	48.5	55.0	56.6
	あまりあてはまらない	31.6	37.5	34.1	29.1	25.7
	まったくあてはまらない	4.3	5.6	5.6	3.4	2.7
様々な視座から物事を批判的に考察することができる	とてもあてはまる	13.6	9.8	13.5	14.3	17.0
	ある程度あてはまる	58.3	55.5	54.9	62.2	60.7
	あまりあてはまらない	25.6	31.7	28.2	21.4	20.8
	まったくあてはまらない	2.5	3.0	3.4	2.2	1.5
専攻する学問分野における思考法を体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	10.4	6.0	9.9	12.2	14.0
	ある程度あてはまる	55.6	48.4	54.2	61.2	59.4
	あまりあてはまらない	30.5	41.0	32.2	24.3	23.9
	まったくあてはまらない	3.4	4.7	3.7	2.3	2.7
目標達成のために、自律的に努力することができる	とてもあてはまる	15.6	12.2	13.5	17.3	19.5
	ある程度あてはまる	59.6	58.8	58.7	59.9	61.2
	あまりあてはまらない	21.3	25.4	23.6	19.9	16.3
	まったくあてはまらない	3.5	3.7	4.3	2.9	3.0
他者の意見を傾聴することができる	とてもあてはまる	26.7	22.2	26.9	25.9	32.0
	ある程度あてはまる	63.1	67.2	60.3	64.0	60.6
	あまりあてはまらない	8.6	8.8	11.1	8.6	6.0
	まったくあてはまらない	1.6	1.8	1.7	1.5	1.4
沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を結びつけて理解することができる	とてもあてはまる	10.5	6.8	9.2	12.2	13.8
	ある程度あてはまる	49.7	48.3	48.9	49.9	51.8
	あまりあてはまらない	34.3	38.2	35.3	33.2	30.2
	まったくあてはまらない	5.5	6.6	6.6	4.7	4.2
特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる	とてもあてはまる	7.7	4.6	8.1	7.7	10.5
	ある程度あてはまる	40.5	41.3	40.7	41.0	39.0
	あまりあてはまらない	39.2	42.3	37.9	38.8	37.7
	まったくあてはまらない	12.6	11.8	13.3	12.6	12.8
それぞれの分野において、信頼できる情報源を判断することができる	とてもあてはまる	9.9	5.9	10.1	11.6	12.3
	ある程度あてはまる	63.6	60.0	61.5	64.3	68.7
	あまりあてはまらない	23.7	30.7	25.4	21.7	16.8
	まったくあてはまらない	2.8	3.5	3.0	2.4	2.2
問題を見いだし、創造的に解決策を考えることができる	とてもあてはまる	10.2	6.1	10.3	11.8	12.9
	ある程度あてはまる	57.0	52.4	53.1	59.3	63.4
	あまりあてはまらない	29.9	38.1	32.9	26.4	21.8
	まったくあてはまらない	2.9	3.5	3.7	2.5	1.9
専攻する学問分野におけるスキルを体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	9.7	5.5	9.5	10.5	13.5
	ある程度あてはまる	54.3	47.2	50.6	59.8	59.9
	あまりあてはまらない	32.0	43.0	34.7	26.4	23.3
	まったくあてはまらない	4.0	4.3	5.2	3.4	3.2
生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる	とてもあてはまる	21.0	16.8	17.7	23.9	25.8
	ある程度あてはまる	57.2	59.3	54.4	56.1	58.4
	あまりあてはまらない	18.9	20.9	23.2	17.9	13.5
	まったくあてはまらない	3.0	3.0	4.7	2.1	2.2
他者と協調・協働して行動することができる	とてもあてはまる	22.1	18.4	19.7	22.6	27.8
	ある程度あてはまる	61.0	63.2	58.9	62.7	59.2
	あまりあてはまらない	14.1	15.0	18.1	12.3	11.0
	まったくあてはまらない	2.8	3.5	3.3	2.4	2.0

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる	とてもあてはまる	21.8	19.0	21.0	22.4	24.6
	ある程度あてはまる	62.0	64.6	59.0	62.8	61.3
	あまりあてはまらない	14.0	14.3	16.8	12.8	12.4
	まったくあてはまらない	2.2	2.1	3.1	2.0	1.7
語彙、論理ともに適切な文章で論文を作成することができる	とてもあてはまる	9.8	6.6	9.8	11.3	11.7
	ある程度あてはまる	52.3	49.0	48.2	53.4	58.5
	あまりあてはまらない	32.9	38.0	35.8	31.0	26.8
	まったくあてはまらない	5.0	6.4	6.1	4.3	3.0
多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる	とてもあてはまる	11.3	6.4	11.9	12.8	14.6
	ある程度あてはまる	63.2	63.0	57.8	64.8	67.2
	あまりあてはまらない	23.2	28.4	27.4	20.5	16.3
	まったくあてはまらない	2.3	2.3	2.9	2.0	1.9
情報や知識を論理的に分析することができる	とてもあてはまる	11.2	7.0	11.7	12.0	14.5
	ある程度あてはまる	61.1	58.3	56.0	65.1	65.1
	あまりあてはまらない	25.2	32.1	29.3	21.0	17.9
	まったくあてはまらない	2.5	2.5	3.1	1.9	2.4
専攻する学問分野における知識を体系的に身につけており、それらを活用することができる	とてもあてはまる	9.9	5.4	9.9	11.3	13.2
	ある程度あてはまる	56.3	48.8	52.5	60.1	63.9
	あまりあてはまらない	30.4	41.5	33.4	25.6	20.4
	まったくあてはまらない	3.5	4.2	4.3	2.9	2.5
心身の健康を自律的に維持するように努めることができる	とてもあてはまる	17.4	14.9	15.3	18.8	20.7
	ある程度あてはまる	59.4	61.0	59.2	58.6	58.8
	あまりあてはまらない	19.5	20.4	20.9	19.9	16.8
	まったくあてはまらない	3.7	3.7	4.6	2.6	3.7
リーダーシップを有し、目標の実現のために行動することができる	とてもあてはまる	10.6	7.1	10.3	11.6	13.6
	ある程度あてはまる	45.5	40.6	41.0	49.3	51.1
	あまりあてはまらない	35.4	40.5	39.5	32.5	29.0
	まったくあてはまらない	8.5	11.8	9.2	6.6	6.3
自然環境を理解し、自然と共生するための知識を身につけることができる	とてもあてはまる	11.0	7.5	11.2	11.9	13.6
	ある程度あてはまる	56.8	56.7	53.7	56.9	59.6
	あまりあてはまらない	27.8	30.7	29.7	27.4	23.4
	まったくあてはまらない	4.4	5.1	5.3	3.8	3.4
自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析・理解し、表現することができる	とてもあてはまる	8.6	5.8	9.6	8.2	11.1
	ある程度あてはまる	50.3	48.1	48.4	52.1	52.8
	あまりあてはまらない	36.0	40.0	36.6	35.0	32.1
	まったくあてはまらない	5.1	6.1	5.5	4.7	4.0
収集した情報をモラルに則って活用することができる	とてもあてはまる	14.4	9.7	13.5	15.7	19.0
	ある程度あてはまる	66.4	66.9	63.2	66.6	68.8
	あまりあてはまらない	16.8	20.7	20.1	15.7	10.6
	まったくあてはまらない	2.4	2.7	3.2	1.9	1.6
獲得した知識や経験等を活用し、課題について総合的に判断することができる	とてもあてはまる	12.2	8.5	11.7	13.6	15.3
	ある程度あてはまる	66.4	65.8	62.8	67.2	69.9
	あまりあてはまらない	19.0	22.9	22.4	17.4	13.2
	まったくあてはまらない	2.3	2.8	3.1	1.8	1.6
社会の一員としての自覚を持つことができる	とてもあてはまる	17.3	12.3	15.8	17.9	23.2
	ある程度あてはまる	62.8	64.4	59.2	64.3	63.0
	あまりあてはまらない	16.9	19.7	21.3	14.7	11.7
	まったくあてはまらない	3.1	3.5	3.7	3.0	2.0
自分が生活している地域社会の問題を理解することができる	とてもあてはまる	11.5	6.2	11.1	12.6	16.4
	ある程度あてはまる	58.8	57.9	55.3	61.0	61.0
	あまりあてはまらない	26.0	31.7	29.0	23.2	19.8
	まったくあてはまらない	3.7	4.1	4.7	3.1	2.8
様々な立場を理解し、論理的に意見を交わすことができる	とてもあてはまる	12.6	8.1	12.0	14.4	16.1
	ある程度あてはまる	62.1	59.2	58.8	64.4	66.0
	あまりあてはまらない	22.8	29.3	25.8	19.0	16.8
	まったくあてはまらない	2.5	3.3	3.5	2.2	1.1
幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から得られる知見を活用することができる	とてもあてはまる	11.8	7.9	10.1	13.7	15.6
	ある程度あてはまる	61.8	58.4	60.9	63.4	64.5
	あまりあてはまらない	23.8	30.0	25.6	21.1	18.3
	まったくあてはまらない	2.6	3.7	3.3	1.8	1.6

項目	回答	全体（%）	1年次（%）	2年次（%）	3年次（%）	4年次（%）
URGCC自律性得点率	0%以上20%以下	1.6	1.4	2.3	1.4	1.4
	20%超40%以下	5.1	5.9	7.6	3.4	3.6
	40%超60%以下	30.9	34.3	33.1	30.3	25.8
	60%超80%以下	44.4	45.4	41.6	44.9	45.8
	80%超	17.9	13.0	15.5	20.0	23.4
URGCC社会性得点率	0%以上20%以下	1.5	1.7	1.7	1.7	1.0
	20%超40%以下	6.7	6.8	9.5	5.3	5.0
	40%超60%以下	30.5	37.2	32.9	28.6	23.0
	60%超80%以下	46.7	44.1	43.4	48.4	50.9
	80%超	14.7	10.3	12.5	16.0	20.1
URGCC地域･国際性得点率	0%以上20%以下	2.5	2.7	3.5	2.1	1.7
	20%超40%以下	15.6	18.5	17.3	13.7	12.5
	40%超60%以下	36.4	40.4	36.8	35.2	32.9
	60%超80%以下	37.0	34.2	34.4	38.7	40.8
	80%超	8.6	4.2	8.0	10.4	12.1
URGCCコミュニケーション･スキル得点率	0%以上20%以下	3.6	4.2	4.5	2.6	2.9
	20%超40%以下	22.9	28.3	23.5	21.3	18.2
	40%超60%以下	38.5	38.6	38.2	40.4	36.9
	60%超80%以下	29.5	25.5	27.9	29.7	35.1
	80%超	5.5	3.5	5.8	6.0	6.9
URGCC情報リテラシー得点率	0%以上20%以下	1.6	2.1	2.2	1.2	0.9
	20%超40%以下	8.5	10.4	11.1	6.5	6.0
	40%超60%以下	36.6	44.3	36.8	35.4	29.4
	60%超80%以下	42.9	38.0	39.1	45.2	49.3
	80%超	10.5	5.3	10.8	11.7	14.4
URGCC問題解決力得点率	0%以上20%以下	2.1	2.4	3.0	1.8	1.3
	20%超40%以下	14.6	19.5	16.1	12.6	9.9
	40%超60%以下	31.1	35.4	34.4	28.9	25.5
	60%超80%以下	43.2	36.9	37.8	46.9	51.7
	80%超	8.9	5.8	8.6	9.9	11.6
URGCC専門性得点率	0%以上20%以下	2.7	3.3	3.2	2.2	2.1
	20%超40%以下	20.8	29.6	22.8	16.6	13.4
	40%超60%以下	22.5	26.6	23.3	19.0	20.8
	60%超80%以下	45.6	36.0	42.5	52.1	52.4
	80%超	8.4	4.5	8.2	10.0	11.3